

東和おもしろ学

ほうこくしょ



2020年2月1日

一般社団法人 東和作戦会議

ごあいさつ



一般社団法人東和作戦会議代表理事 薄衣忠孝

「人が生き生きしている町づくり」は誰もが望み、普遍であります。私たちが目指そうとしている町づくりは、今日までの成果をベースとして捉え、地域の資源である歴史の探求や、文化を再現しながら人と人との絆を深めていく事業・活動の展開であります。昨年3月、その志をひとつとする有志が結集し一般社団法人東和作戦会議を設立いたしました。「あづまって、ぬぐだまる、いまはじまる」をコンセプトに実に様々な提案がなされ、幾度となく開いたワークショップ、調査研究、研修を積み重ねるも課題も噴出。議論を重ねながら方向を模索しました。特産品開発や、農泊の実現に向けた準備も進んでいます。地域資源を活かした棚田マラソンへの支援も行いました。今回実施したおもしろ学講座では、歴史や自然、文化に触れる機会を提供させていただきました。会員も50人を超え、他地域からの参加もいただき、遠方からの応援メッセージや、郷土愛溢れるお言葉を頂戴しました。癒しや温もりを感じる町になりつつあるのではと感じています。皆様の積極的なご参加をいただき、今事業が終了しますことを感謝いたします。また、これまでご支援いただきました関係各位に深く感謝申し上げます。

目 次

表 紙

ごあいさつ
実施要項
募集チラシ
会員名簿
事業実施一覧
事業個別報告
東和弁ゼミな～る
草木染講座
東和の巨木巡り 写真展 コンクール
東和の歴史講座
薄衣氏の歴史
小原氏の歴史
ツアーガイド講座
東和産業まつり出展
学園祭
生活文化に関する調査・ふるさとの味調査結果

東和作戦会議速報(1号～15号)
あとがき

歴史朗読劇「土澤の熊」シナリオ	31～35
東和弁ミニ辞典	1～31
裏表紙 (東和弁と歴史朗読劇)	

東和おもしろ学実施要項

事業の目的

当法人の前身である、東和地域交流のまちづくり協議会は、農林水産省農泊推進事業を導入し、平成29年度から2年度にわたり、東和の魅力の発見と発信、農泊推進のための活動を展開してきた。

これら実績をもとに、さらに深め推進するため、東和地域の豊富な歴史、文化、生活を後世に伝える方策として、地域の語り部を育成するとともに、実践の場を提供し、内外から人を呼び込み、東和の魅力を発信する。

3 事業内容

(1) 東和の歴史史跡見学会・学習会の実施

地元の歴史を学ぶため、「東和の歴史と文化財を学ぶ会」や東和地域の各コミュニティ会議等と協力し、地域の歴史の掘り起こし、現地見学会を企画実施する。

(2) 調査活動の実施

地域に伝わる食文化、生活についての調査活動及び観光ガイドの先進地調査を行う。

(3) ガイド・語り部育成

観光ガイド、語り部の育成を行うため、先進地の観光ガイドや語り部を招聘し学習会を行う。

(4) おもしろ学ツアーの実施

東和交通観光と提携し、東和おもしろ学ツアーを開催。

内外から観光客を募り地域の歴史、文化、食について紹介するとともに、観光ガイド、語り部の実践活動を行う。

(5) 民話劇の作成と公演

東和の歴史をもとに民話劇を作成し地元劇団により公演を行う。

4 期待される効果（事業の成果）

○東和地域内の歴史と文化に興味を持ち、東和地域の歴史を語ることでできる住民が増える。

○東和地域を訪れた観光客に地域の魅力を語ることでできる住民が増える。

○掘り起こした東和の歴史、文化を発信することにより興味を持ち東和を訪れる観光客が増える。これにより経済効果に繋がる。

募集チラシ

東和おもしろ学に参加しませんか？

一般社団法人東和作戦会議では、今年度、東和地域の歴史や文化を学び未来に繋げるため、「東和おもしろ学事業」を行います。「過去を知り、今を考え、未来につなぐ」ため、東和地域に残る歴史や生活文化の調査を行い、方言や民話の収集などを行います。「いま聞いておかなければならない貴重な昔の話」「皆さんの生まれた家や地域に伝わる生活習慣や食べ物」「教えてください 皆さんのこどもの頃」

大切な郷土の歴史や文化を、私たちの時代で途切れさせないよう「学んで」「語って」そして子どもたちに残しましょう！東和を訪れる人たちに、ここで生きる私たちの誇りを伝えましょう。



東和おもしろ学は次の活動を行います。

- 東和の歴史史跡見学会・学習会の実施
地元の歴史を学ぶため、各団体等と協力し、地域の歴史の掘り起こしや現地見学会を行います。
- 調査活動の実施
地域に伝わる食文化、生活についての調査活動及び観光ガイドの先進地調査を行います。
- ガイド・語り部育成
地域を語れる「語り部」の育成を行うため、先進地の観光ガイドや語り部を招いて学習会を行います。
- おもしろ学ツアーの提案
東和おもしろ学ツアーについて検討。内外から観光客を募り地域の歴史、文化、食について紹介し、観光ガイド、語り部実践のため、東和交通観光と協議、企画について提案します。
- 民話劇の作成と公演
東和の歴史をもとに民話劇を作成し地元劇団により公演します。

ただ今会員募集中♡♡

年会費2,000円(家族会員500円)

この他に、活動ごとに別途実費を頂戴することがあります。

参加してみたい方！下記にお申し込みください

一般社団法人東和作戦会議ホームページ

<http://touwa-noutabi.blogspot.jp/>

大石 携帯 090-6221-8735

多田 携帯 090-4317-2559

ご連絡お待ちしております



一般社団法人東和作戦会議
平成31年(2019)4月1日設立

〒028-0114

岩手県花巻市東和町土沢5区372

電話：0198-29-6500 FAX：0198-29-6501

メール：omoshiro@leaf.ocn.ne.jp

ホームページ <http://touwa-noutabi.blogspot.jp/>



「東和おもしろ学」会員のみなさんへ

今後の活動計画をお知らせします

10月17日(木) 9:00~15:00(予定)

「草木染講座」 東和総合福祉センター調理室

参加費 会員 1,000円

身近にある草や木を使って「草木染」を体験。東和の魅力再発見！世界でひとつだけのものづくりに挑戦しましょう。完成品は11月9日(土)10日(日)に実施される花巻市東和町産業まつりで展示する予定です。

講師：浮田在住 工藤順子さん

応募等詳細については、事業実施ごとに随時お知らせします。



10月27日(日) 9:00~12:00

歴史講座その1「東和の巨木巡り」(2ヵ所)

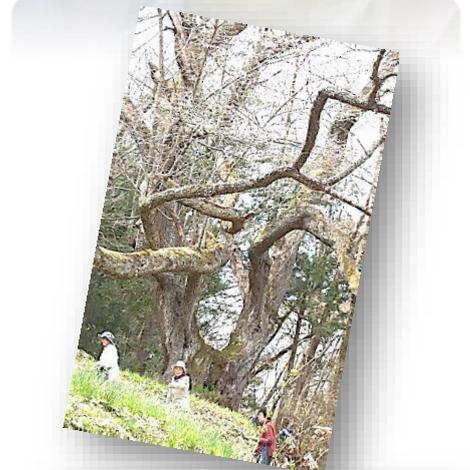
参加費 会員 無料

東和の歴史の変遷を見つめてきた巨木を観察し、自然を写真に切り取る技術を会得します。

講師：とうわ野鳥の会 大和久 彰さん

講師：東和在住 写真家 多賀谷真吾さん

※後日写真展を開催予定



11月24日(日) 9:00~15:00

歴史講座その2「町井薄衣家の歴史」

参加費 会員 1,000円(昼食代)

豊臣秀吉の奥州仕置きにより、薄衣城を逃れた薄衣氏の直系子孫から聞く歴史秘話。町井ふるさとセンター「おでつて」で講話。その後、一関市川崎町の薄衣家菩提寺、薄衣城跡、川崎町市民センター等を巡ります。

講師：薄衣氏末裔 薄衣照雄さん、及び川崎町現地案内者



12月2日(月) 9:00~12:00
歴史講座その3「東和おもしろ学ツアー」

参加費 会員 無料

小原氏の変遷をたどる歴史ツアー。安俵小原氏の居城跡を巡ります。

安俵城跡、高館、北上市二子城跡、更木館跡

講師：花巻市文化財専門官 中村良幸さん



令和2年2月中旬
「ツアーガイド養成講座」

参加費 会員 無料

東和の歴史や史跡資料をもとに、東和観光ガイドテキストの作成や、ツアーガイド希望者への指導、実践。

講師：葛岡定典さん

東和おもしろ学 会員募集中！お友だちを誘ってご参加を！年会員2000円です。

8月17日(土)実施の「東和弁ゼミな〜る」にはおよそ40人の方々が参加し、好評でした。通所者のみなさんは東和弁で昔を懐かしんでいました。東和弁の冊子作製を検

東和おもしろ学会員名簿

入会順

令和元年度花巻市市民活動支援事業補助金活用事業 令和元年6月～令和2年2月

No.	氏名	住 所	No.	氏名	住 所
1	藤井輝雄	東和町中内	29	薄衣忠孝	東和町町井
2	役重眞喜子	東和町田瀬	30	薄衣澄枝	東和町町井
3	大石文子	東和町館迫	31	薄衣祐蔵	東和町町井
4	多田悦子	東和町安俵	32	薄衣悦子	東和町町井
5	菅野和	東和町鷹巣堂	33	薄衣哲夫	東和町町井
6	小田美香子	東和町南川目	34	薄衣郁夫	東和町町井
7	千葉隆典	東和町下浮田	35	薄衣 静	東和町町井
8	朝倉常悦	東和町田瀬	36	薄衣利幸	東和町町井
9	日下 明久美	東和町下浮田	37	薄衣 好	東和町町井
10	葛岡貞典	花巻市葛	38	薄衣欣悦	東和町町井
11	及川恒雄	東和町土沢	39	薄衣 健	東和町町井
12	山影春香	東和町小通	40	薄衣博昭	東和町落合
13	糸川拓真	花巻市中北万丁目	41	薄衣文雄	埼玉県春日部市豊町
14	工藤順子	東和町浮田	42	夏井 賢	川崎市
15	小田拓美	東和町南川目	43	夏井美幸	川崎市
16	斎藤百合子	東和町百ノ沢	44	中島 昇	川崎市
17	千葉まゆみ	東和町中内	45	前島 藍	川崎市
18	吉田健弘	東和町前田	46	柴田大地	川崎市
19	平野榮一	東和町館迫	47	工藤百合子	盛岡市
20	佐々木恵子	東和町安俵	48	諏佐吉政	川崎市
21	小川寿美子	東和町土沢	49	諏佐裕子	川崎市
22	菊池俊一	東和町館迫	50	高橋典人	東和町小友
23	藤根アサ	東和町土沢	51	赤坂 謙	東和町安俵
24	藤根英貴	東和町土沢	52	千葉依子	東和町下浮田
25	大森松司	高木	53	小原一明	東和町安俵
26	平野なか子	東和町安俵	54	吉田妙子	東和町安俵
27	小田島陽子	東和町下浮田	55	吉田隆一	東和町土沢
28	小菅好子	東和町下浮田	56	小原雅道	東和町安俵
			57	福盛田紀子	東和町土沢

東和おもしろ学事業実施一覧

令和2年2月29日

項目	実施日時	実施場所	共催	参加者	内容
① 東和弁ゼミな～る	8月17日(土) 14:30	東和荘デイサービスセンター		47	東和荘デイサービス通所者と交流を行い、東和弁の収集を行った。劇団よぐまんづ東和町の方言によるミニ公演も同時開催した。
② 東和の巨木巡り	10月27日(日) 9:00～12:00	東和町内 前田エドヒガン桜 石鳩岡の数栗 毒沢栃の木 以上3か所	東和の歴史と文化財を学ぶ会 とうわ野鳥の会	20	花巻市文化財指定の樹木を見て回り、同時に写真撮影技術を学んだ。写真コンクール、写真展を開催した。(写真展は産業まつり「農旅ブース」と東和コミュニティセンターの2カ所2回実施) 講師 大和久彰さん 多賀谷真吾さん
③ 東和の歴史講座 町井薄衣氏の歴史	11月24日(日) 9:00～16:30	・町井ふるさとセンター おでって 一関市川崎町 薄衣城跡 薄衣家菩提寺	東和の歴史と文化財を学ぶ会	33	薄衣氏末裔薄衣照雄さんに薄衣氏の歴史を聞くとともに、ゆかりの地薄衣城跡、菩提寺安養寺記念碑等を見学した 講師：薄衣照雄さん。 現地説明者：岩渕正之助さん
④ 東和の歴史講座 安俵城主小原氏の歴史	12月2日(月) 9:00～12:30	安俵城館、高館跡、北上双子城跡、更木館跡	東和の歴史と文化財を学ぶ会	30	和賀氏に仕えた安俵小原氏の歴史をたどり、安俵城と高館等を見学。 講師：花巻市総合文化財センター中村良幸さん
⑤ 生活、食、文化の調査	10月17日(木) 10:00～15:00 草木染講座	東和総合福祉センター		8	「セイタカアワダチソウ」「生藍」で草木染体験を実施した。 成果品は産業まつり「農旅ブース」で展示した。 講師：工藤順子さん
	我が家に伝わるこびりレシピ調査 11月9日10日	産業まつり会場 東和体育館		15	東和産業まつり2019の会場内に設置した「農旅ブース」で、来場者から情報収集調査を行った。27点収集
⑥ ツアーガイド講座 ガイド体験	令和2年 1月21日(火) 13:30～15:30	東和コミュニティセンター	東和の歴史と文化財を学ぶ会	22	東和地域に観光客を呼び込み、誰もが、観光スポットや文化、歴史、史跡などのガイドができるよう、花巻市内の観光ガイドの実情を学び、ガイド実践者との交流を行った。現地研修も実施した。 講師：葛岡貞典さん
	2月20日(木) 9:00～12:00	胡四王山他		11	
⑦ おもしろ学学園祭	2月24日(月) 3:30～15:30	東和コミュニティセンター	「劇団よぐまんづ東和町」	34	おもしろ学の総まとめ・交流会 巨木巡り写真展・コンクール表彰式 地元の言い伝えをシナリオ化した歴史朗読劇「土澤の熊」公演
⑧ 報告書作成	2月末日				一連の事業の集大成として報告書を作成した。

事業別報告

★東和弁ゼミな～る

東和おもしろ学

♡東和弁ゼミなーる♡

まみすくてらったすか？
おげんきでいらっしゃいましたか？

おはよござんす
おはようございます

8月17日土曜日
午後2時半
東和荘デイサービス
センターさ来てくおや



じゃ！
おもせそ
だなは？

「東和弁ゼミなーる」に参加して素敵な東和弁を学び直してみませんか
(一社)東和作戦会議では、地域の文化の要である郷土の言葉を継承していくため先輩たちが話す東和弁を学ぶ、東和弁ゼミなーるを行います。

期 日 2019年8月17日(土) 午後2時30分から午後3時30分

場 所 東和荘デイサービスセンター

内 容 劇団よぐまんづ東和町が東和荘デイサービス通所者のみなさん及び、一般参加者のみなさん並びに、夏休み中の小中学生のみなさんと交流しながら、古くから使われている東和弁を学び収集します。

当日は「劇団よぐまんづ東和町」のミニ公演を開催し、出し物の合間に「東和弁で話そう」のコーナーを設けます。

- ♥東和おもしろ学会員のみなさん、いよいよ活動開始です。どうぞご参加ください。
- ♥小中学生のみなさん！夏休みの自由課題の参考に参加してみてもいいかもしれません。
- ♥参加費は無料です。

(一社)東和作戦会議では、おもしろ学会員を募集しています。歴史講座や巨木めぐりなど、この他にも楽しい勉強会があります。年会費2,000円(家族会員は500円)です。会員になりたい方は上記事務局にお申し出ください。

お問合せや参加ご希望の方！下記にお申し込みください

一般社団法人東和作戦会議ホームページ <http://touwa-noutabi.blogspot.jp/>

大石 携帯 090-6221-6028

多田 携帯 090-4377-2559 ご連絡お待ちしております

東和おもしろ学「東和弁ゼミな～る」実施報告書

提出日 令和元年8月19日

提出者 多田悦子

タイトル	① 東和弁ゼミな～る
目的	地域の文化の要である郷土の言葉を継承していくため先輩たちが話す東和弁を学ぶ
実施期日	令和元年8月17日(土) 14:30～15:30
実施場所	東和荘デイサービスセンター
内容	<p>劇団よぐまんづ東和町の公演を鑑賞後、「懐かしの東和弁」、「東和弁あいさつ編」「体のあちこち東和弁」などについて楽しく交流した。</p> <p>《経過》</p> <p>14:30 開会 薄衣代表理事あいさつ 劇団よぐまんづ東和町晴山代表あいさつ デイサービスセンター多田所長説明 公演 へっぴり嫁っこ 東和弁ミニ講座(晴山代表進行・多田悦子補助) ダンス 「ソーラン」「アンパンウサギ」 15:50 閉会</p> <p>《参加者》</p> <p>○東和荘デイサービスセンター通所者 23人 ○東和荘デイサービスセンター職員 5人 ○劇団よぐまんづ東和町(団員6人、同行子ども2人) 8人 ○東和おもしろ学会員 9人 ○一般参加者 2人 計47人</p> <p>《詳細》 別紙速報第6号参照</p>

経費

収入

項目	金額	内訳
負担金	10,000	東和おもしろ作戦会議・市民団等活動体支援事業
計	10,000	

支出

項目	金額	内訳
報償費	10,000	劇団よぐまんづ東和町公演謝礼 (市内団体対象謝礼額 10,000円)
計	10,000	

★草木染講座

東とおもしろ学 草木染講座

開催日時：令和元年 10月 17日（木）

開催場所：東和総合福祉センター調理室・機能訓練室

講師

浮田 工 藤 順 子さん

東和町には、「及川全三」という木染の先駆者がいました。貧しい農村の暮らしに希望を与えるために研究に没頭したといわれています。身近にある草の葉や根、樹皮、枝、実などで染める草木染。東和の豊富な自然を活かし、自分だけの逸品を染め上げ、東和の魅力を再発見しましょう。

【当日の流れ】

- 9:30 草木染についての講義
- 10:00 草木染実技体験
使用する草の裁断・煮だし作業
染色作業（木綿 60□で 20分）
媒染作業（ミョウバン、木酢酸鉄、銅）
- 12:00 昼食
- 13:00 洗浄・脱水
- 14:30 後片付け 解散

《参加費》 1,000 円

《持ち物》

厚手のゴム手袋
剪定ばさみ
厚手のエプロン
筆記用具
昼食

参加してみたい方！下記にお申し込みください

一般社団法人東和作戦会議事務局

大石 携帯 090-6221-8735

多田 携帯 090-4317-2559

ご連絡お待ちしております



東和おもしろ学「草木染講座」実施報告書

提出日 令和元年10月18日
提出者 多田悦子

タイトル	草木染講座
目的	身近にある草の葉や根、東和の豊富な自然を活かし、自分だけの逸品を染め上げ、東和の魅力を再発見する。
実施期日	令和元年10月17日(木) 9:30~14:30
実施場所	東和総合福祉センター 子ども会研修室、調理室
内容	1 講師：工藤順子さん 花巻市東和町浮田 2 染 剤 ミョウバン 木酢酸鉄剤 3 染素材 セイタカアワダチソウ 藍（生葉） 4 染 布 絹、木綿のストール さらし（手ぬぐい風） 5 参加者 8名 6 作品展 11月9日10日の東和産業まつり農旅ブースで展示

経 費

収 入

項目	金額	内 訳
参加費	9,000	8人×1,000円 一人の方2枚作製
負担金	5,868	東和作戦会議 花巻市市民活動等支援事業
計	14,868	

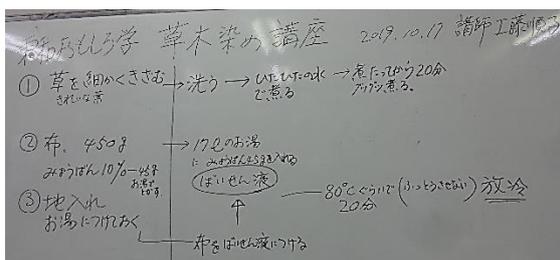
支 出

項目	金額	内 訳
会場燃料代	400	ガス代 400円
講師謝礼	5,000	
生地代	9,468	綿シフォン生地他 9枚
計	14,868	

草木染講座受講アンケートまとめ

参加8名 回答8名 回答率100%(複数回答あり) R1.10.17

1	草木染体験はいかがでしたか？				
	楽しかった		6人		
	勉強になった		5人		
	難しかった		0人		
	自分でもできるような気がした		1人		
	その他		0人		
2	自分の身の回りのもので、染めてみたいと思う草や木はありますか？				
	思い当たらない		2人		
	染めてみたい草や木がある		5人		
	(桜3人 梅2人 藍 栗 マリーゴールド クズ 花ずおう)				
	(どんな物があるかわからない。廻りには名前も知らない雑草が沢山あるものからどれがどれかわからない。)				
3	これからも草木染をやってみたいですか？				
	独学でもやってみたい		2人		
	また同じような講座があればやってみたい		7人		
	その他(皆でやりたい)		1人		
4	東和おもしろ学を知っていましたか				
	知っていた		5人		
	知らなかった		2人		
5	東和おもしろ学で取りあげてほしいものがありますか？				
	・何をやりたいのかわからないので、何でもいいのでお願いします。(2人)				
	・わらべ唄、作業唄、あそびのはやし唄(例：お手玉) 昔あそび				
6	その他ご自由にご感想をお願いします。				
	・草木染体験のきっかけを作っていただきありがとうございました。				
	・出来上がりが楽しみで、皆さんの仕上がりも色々でいいですね。				
	・身近にある沢山の自然をこんなにも楽しめることを知り、楽しく嬉しい一日でした。				
	・今日はいろいろ勉強させていただきました。また、機会があったら参加したいです。				



★東和の巨木巡り・写真展・コンクール



東和の巨木巡り

期日：令和元年10月27日（日）

9:00～12:00

場所：前田・石鳩岡・毒沢

主催：一般社団法人東和作戦会議
共催：とうわ野鳥の会
東和の歴史と文化財を学ぶ会

＜講師＞

巨木解説：大和久 彰さん（とうわ野鳥の会）

撮影指導：多賀谷真吾さん（写真家）

＜目的＞

歴史を物語る東和の巨木を観察する。
東和の自然を肌で感じ、その感動を写真で表現するため、写真撮影の技法を学ぶ。
写真展を開催し「東和の巨木」を広く紹介する。

＜参加費＞

おもしろ学会員 無料

とうわ野鳥の会会員 無料

東和の歴史と文化財を学ぶ会会員 無料

おもしろ学新会員 2,000円

（家族会員 500円）

＜日程＞

9:00 道の駅とうわ 集合開会 講師紹介

9:10 出発（東和交通観光マイクロバス）

9:20～10:00 前田 桜の木 観察・撮影指導・撮影

10:10～10:40 石鳩岡 数栗 観察・撮影指導・撮影

11:00～11:40 毒沢 栃の木 観察・撮影指導・撮影

12:00 道の駅とうわ解散

＜服装・持ち物＞

- ・山歩きができる服装（長袖、長ズボン、長靴又は厚底のスニーカー）
- ※雨天の場合は雨合羽（豪雨の場合は延期）
- ・カメラ（スマホ可）、軍手、筆記用具など



【写真展】

- ・参加者が、自分で撮影した写真の中から1枚を選んで、A4版に印刷し提出。（希望者のみ）
- ・出品写真は、11月9日10日の東和町産業まつり（東和体育館で開催）に参加し、展示コーナーで展示する予定。



参加してみたい方！

下記にお申し込みください

一般社団法人東和作戦会議事務局



とうわの巨木写真展応募要項

- 1 目的 東和の自然の中で、歴史を紡いできた巨木を紹介し、新たな視点で地元を見つめ直す機会にする。
- 2 期日 令和元年11月9日（土）、10日（日）（好評であれば再展示も検討）
- 3 場所 花巻市東和体育センター 「花巻市産業まつり会場」農旅ブース
- 4 応募要件
令和元年10月27日（日）実施の東和おもしろ学「とうわの巨木巡り」参加者であること。
応募用紙には、写真のタイトル、応募者の住所、氏名、連絡先、写真に込めた思いなどを記入する。
応募作品の著作権は主催者に帰属する。
- 5 応募作品
巨木巡り当日撮影した写真であること。
A4判に各自で印刷したものであること。
ひとり1点とする。
ただし、応募希望者が10人を超えない場合は、一人2点とする。
額縁に入れて出展できる方は、各自額縁を用意のこと。
額縁には、つるすことができるように紐を付けて提出のこと。
- 6 作品の提出期限
令和元年11月5日（火）午後5時
- 7 作品の提出先
花巻市東和総合支所3階 地域振興課内 大石文子まで持参のこと。
ただし、**デジタルカメラで撮影したもので額縁も使用せず、印刷も主催者に任せる場合は、必要事項を記入の上、下記事務局多田宛てメールで提出してもよいこととする。**
- 8 作品の返却
東和産業まつりでの展示の後、東和図書館での展示も検討予定なので、事務局で企画した展示会全て終了後に封書で返却する。ただし、メールで応募したものについては返却しない。
- 9 その他
応募作品のうち1点のみ多賀谷真吾賞として選出し、多賀谷真吾氏の写真集を贈呈する。

《問合せ先その他》

一般社団法人東和作戦会議

東和おもしろ学事務局 多田悦子

電話 090-3417-2559

「東和の巨木」写真展出展者一覧表

出展者名	タイトル	撮影場所	住 所	備考
大和久 彰	ガオーツ	毒沢	奥州市江刺米里字下谷地	特選
〃	自然の中の巨樹	前田	〃	準特選
平野 保	俺様は毒沢の栃大王だぞ	毒沢	東和町毒沢	準特選
〃	こっちの方も眺めたい	前田	〃	
吉田 寛	なかよし	石鳩岡	東和町南川目	入選
〃	嘆き	毒沢	〃	
斎藤秋雄	延びよ地平線に	前田	東和町百ノ沢	
〃	大王	毒沢	〃	
斎藤百合子	閑けさ	毒沢	〃	
〃	生命力	前田	〃	
小田拓美	無題	毒沢	東和町南川目	
朝倉常悦	サーサ寄ってらっしゃい見 てらっしゃい	前田	東和町田瀬	
〃	背が高く見えるでしょ	石鳩岡	〃	
小田美香子	日本昔ばなしの語りべ	前田	東和町南川目	
〃	カズクリの饗宴	石鳩岡	〃	
大石文子	これからも	毒沢	東和町舘迫	入選
〃	歳月	前田	〃	
多田悦子	妖精の住む森	毒沢	東和町安俵	
〃	全て私です	前田	〃	
10名	19点			

写真展 講評 写真家多賀谷真吾さん

❖特選 大和久彰さん タイトル「ガオーツ」

大変大胆な構図。奥で樹が万歳しているかのような、どうだ俺は！樹の主の矜持プライドが聞こえてくるような作品。この切り取り方はどれぐらい大きいのか想像をさせるような迫力ある写真、全体が暗い中で、空の方が明るくハイライトになっている。飛びすぎないで黄色の秋の色が見えて完璧。大胆さと正確な構図で完璧。樹を良く知っている人の写真。

❖準特選 大和久彰さん タイトル「自然の中の巨樹」

何気ない構図。木の肌をもっと見せられるはずなのにあえて見せず、まとわりついているムラサキシキブの鮮やかな緑の葉を主役に据えているのがユニーク。三分割法の交点のいい位置にムラサキシキブの目立つ色を持ってきているところが心癒される。

✿準特選 平野保さん タイトル「俺様は毒沢の栃大王だぞ」

全体に非常に安定したオーソドックスな構図。根元の石、その苔の緑が美しく、この時期の季節感となっている落ち葉がラインになっているところに目を付けた点が素晴らしい。全体の露出を少し明るくすることによって木の肌がよく見える、明るい森という印象を与えてくれる。作者の意図が感じられてよい。惜しいのは、右上に少し映り込んでいる樹の幹が邪魔なのでトリミングしてカットしても良かった。

✿入 選 吉田 寛さん タイトル「なかよし」

時期としては、ほとんど終わってしまったカズクリの少し残った雌花の美しさを捉えている。一点フォーカスで後ろのボケ具合が美しい。白い玉のような光の粒も幻想的。画面の下を横切っている木の枝がアクセントになっていてバランスの良い作品。

✿入 選 齋藤秋雄さん タイトル「延びよ地平線に」

木の幹の太い部分ではなく横に張り出した枝に注目し、黒くシルエットにすることで、おもしろい大胆な構図になっている。画面下に民家が写っており、この樹木が人に見まもられて生きてきたということがわかる構図。木々の紅葉も季節感を演出するのに役立っている。

✿入 選 齋藤時雄さん タイトル「大王」

巨樹の迫力が表現されている。樹の幹の肌のうろこ調の模様が非常に良い露出。上の方の画面の上に黄色の葉がアクセントになっているのが良い

✿入 選 大石文子さん タイトル「これからも」

安定感があり見飽きない構図。手前のいい位置に岩があり、緑の美しい苔と落ち葉が良いアクセントになっている。背後の杉林の直線も、テーマになっている樹のねじ曲がっているところと、杉の直線のとの対照が良い。

✿齋藤百合子さん タイトル「閑けさ」

画面を二分するような形で巨樹と杉林が等分になっている。幹の方を7割、奥の背景を3割。主役とわき役をはっきりするとよい。苔とか緑の部分着目、茶色と緑の部分など良いところを切り取っているので構成の部分だけ気を付ければ。

✿齋藤百合子さん タイトル「生命力」

狙いとしては、人を入れることで樹の大きさを表そうとしたと思うが、縦構図にし、カメラを持たず上を見上げてたたずんでいる方が良かった。

✿吉田 寛さん タイトル「嘆き」

なかなかオーソドックスな構図で良い。ただ背景の杉林と巨樹のシルエットがオーバーラップしているので、もう少し左右どちらかに動いて背景と同化しない位置で狙っても良かったのでは。樹の下の方に蔦が這いあがっているかわいらしさを入れたのは面白い。

✿平野 保さん タイトル「こっちの方も眺めたい」

点前の黄色い葉をアクセントに入れたのだと思うが、少し右寄りの三分割法の交点のあたりに持ってくるとよかった。右の方に苔がぼけている部分をカットしてズームアップし、ねじれている樹のところをアップにすると良かった。

❖朝倉常悦さん タイトル「サァーサ寄ってらっしゃい見てらっしゃい」

森の賑わっている様子がわかるが、巨樹らしさが切り取られていないので、幹の部分を強調した方が良かった。人が大勢映り込んでいると観光写真風になるので、人があまり入り込まない方が良かった。

❖朝倉常悦さん タイトル「背が高く見えるでしょ」

カズクリの撮影場所は少し難しかった。軽トラやカメラを構えている人が写り込んでいるので、アップ気味に縦構図にして樹木が上に伸びている構図にした方が良かったかもしれない。赤い鳥居が入っているのは良かったので、人が入らないタイミングで写すとよかった。

❖大石文子さん タイトル「歳月」

巨樹の枝の苔の部分に目を付けたのだと思うが、そこをもう少しアップ気味にとって、上と下をトリミングすると良かった邪魔な枝があちこちに入っているのでクローズアップすることで整理すると良い。

❖小田拓美さん タイトル「無題」

点前に苔の美しい岩を入れたのは良いが上の木と半々の配分の構図になっているので、木の幹を主役にするか、岩かどちらかに焦点を当てる。

❖小田美香子さん タイトル「日本昔ばなしの語りべ」

❖小田美香子さん タイトル「カズクリの饗宴」

※小田美香子さんの作品は事務局の手違いで講評を受けることができませんでした。お詫びいたします。

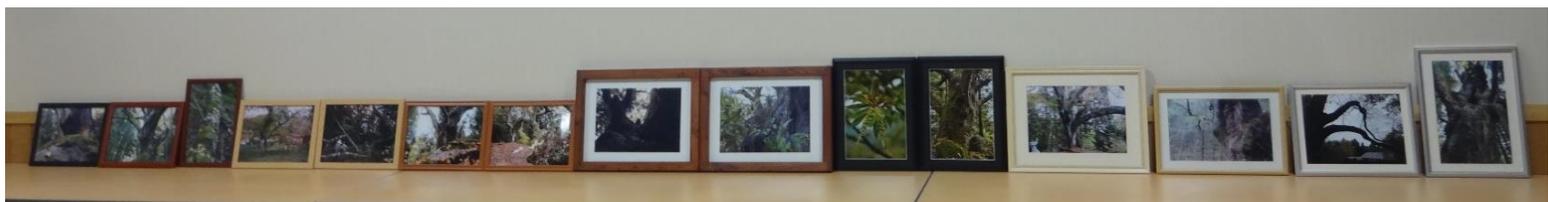
❖事務局 多田悦子 タイトル「妖精の住む森」

この樹のボリュームに対し四方に伸びていく枝の流れ方を良い位置で狙っている。樹の肌の凹凸も良い。アクセントに葉と緑の苔の美しさも出ていて良い。

特選受賞者に多賀谷真吾さんの写真集とポストカード2セット

準特選者にはポストカード2セット

入選者にはポストカード1セット贈呈



東和おもしろ学「東和の巨木巡り」実施報告書

提出日 令和元年 11 月 12 日

提出者 多田悦子

タイトル	歴史講座① 東和の巨木巡り
目的	歴史を物語る巨木を観察することにより、東和の自然を肌で感じ、その感動を伝えるため写真撮影の技法を学び、写真展を開催し「東和の巨木」を広く紹介する。
実施期日	令和元年 10 月 27 日(日) 9:00~12:00
実施場所	花巻市文化財指定樹木 2 か所 国の天然記念樹木 1 か所
内容	<p>1 共催 とうわ野鳥の会 東和の歴史と文化財を学ぶ会</p> <p>2 講師 ○東和野鳥の会 大和久 彰さん ○写真家 多賀谷真吾さん</p> <p>3 内容 東和町内の巨木観察と写真撮影手法習得</p> <p>≪日程≫ 9:00 道の駅とうわ 集合 開会 講師紹介 9:10 出発(東和交通観光マイクロバス) 9:20~10:00 前田 桜の木 観察・撮影指導・撮影 10:00~10:40 石鳩岡 数栗 観察・撮影指導・撮影 11:00~11:40 毒沢 栃の木 観察・撮影指導・撮影 12:00 道の駅とうわ解散</p> <p>≪場所≫ ●小山田 前田 桜の木 (花巻市文化財指定樹木) ●小山田 石鳩岡 数栗 (国の天然記念物) ●毒沢 栃の木 (花巻市文化財指定樹木)</p> <p>4 参加者 20 人</p> <p>5 写真展 令和元年 11 月 9 日(土)10 日(日) 東和体育館 参加者が撮影した写真の中から 2 枚を選定 A4 判に印刷して提出。(出展希望者のみ) 事務局が取りまとめ、東和町産業まつり農旅ブースで実施。 出品者 9 名 16 点 (事務局 1 点) (写真コンテスト同時開催)</p> <p>特選 大和久 彰 タイトル「ガオー」 準特選 大和久 彰 タイトル「自然の中の巨樹」 準特選 平野 保 タイトル「俺様は毒沢の栃大王だぞ」 入選 吉田 寛 タイトル「なかよし」 入選 斎藤 秋雄 タイトル「延びよ地平線に」 入選 斎藤 秋雄 タイトル「大王」 入選 大石 文子 タイトル「これからも」</p>

経 費

収 入

項 目	金 額	内 訳
負担金	43,000	東和作戦会議・市民団等活動体支援事業
計	43,000	

支 出

項 目	金 額	内 訳
委託料	33,000	バス代
講師謝礼	10,000	@5,000×2名
計	43,000	

東和の巨木巡りアンケート集計結果

(16名中回答者14名：複数回答あり) R1.11.19

1	今回参加した理由をお聞かせください		
	① 誘われたから	6人	
	② 自然に興味があったから	6人	
	③ 写真技術の勉強になると思ったから	7人	
	④ なんとなく	0人	
	⑤ その他 (会員なので参加しました)	1人	
2	今回の巨木巡り、写真撮影ツアーに参加した感想は？		
	① 大変勉強になった	8人	
	② 面白かった	8人	
	③ 大体知っていたのでまあまあだった	1人	
	④ 新しい発見があって興味深かった	5人	
	⑤ その他	0	
3	東和の自然について他にどんなことが知りたいですか？		
	① 植物や昆虫などの名前	3人	
	② 食べられる木の実や、生活に役立つ植物などについての情報	11人	
	③ 自然を撮影する方法などについて	8人	
	④ 巨石や巨木について	4人	
	⑤ 生息する動物たちについて	4人	
	⑥ その他 (今泉先生に伺いたい。歴史的なこと。物(史跡)、ミステリー坂)	2人	
4	今回参加したご感想を自由にお書きください。(12人)		
	毒沢の枡は初めて見ました。近くにこんな巨木があり感動しました。カメラが持って行かなかったが残念です。次回はカメラ持参で参加したいです。ありがとう御座いました。		
	写真を撮るつもりはなかったが、秋の風景や皆さんの話、多賀谷さんのアドバイスから、つついスマホにおさめてしまった。次回も楽しみになった。		
	自然の雄大さを感じ、共生する動植物を大事に守っていかなければと感じました。		
	近場に住んでいて知らないことにはずかしい思いです。写真撮影会なのにカメラを使いこなせなく、うまく撮ることが出来ず残念です。		
	ありがとうございました。		
	楽しかった。		
	カズグリは終わりがけでしたが、周りの紅葉がきれいでした。巨木だけでなく、写真の撮り方を教わり大変有意義でした。ありがとうございました。		
	少人数の参加だったが、私の性格には適していた。		
	写真撮影後の午後にプリントアウトした写真で(プロジェクター)講師による一人一人の寸評があるといい。テーマをかえて継続すると技術も向上し、自然に関心を持つ人も増えていい。		
	自然体験初めてでしたが、東和地域の広さと大切なものが残されていることに感心しました。次世代に残す為にも東和作戦会議でも何らかの形で応援が必要ではないでしょうか？楽しかったです。		
	皆さんと交流できて大変よかったです。		
	悦子さんに員数合わせで連絡を戴きまして参加しました。前日の雨でモチ稲の稲コギができず、ゆっくり参加することができました。		

★歴史講座1

東和おもしろ学 歴史講座

町井薄衣氏の歴史

と き 令和元年11月24日(日)

ところ 東和町町井～一関市川崎町

奥州仕置きによる薄衣家の悲劇そして復活。

歴史の波に翻弄されながら血筋を今に残す歴史秘

主催 一般社団法人東和作戦会議

共催 東和の歴史と文化財を学ぶ会

行 程

9:00 道の駅とうわ集合・出発
※(町井の方で参加する方は現地で待機)
9:30 東和町町井 町井ふるさとセンターおでって
「薄衣家の歴史について」薄衣照雄氏の講義
10:30 町井出発(薄衣照雄氏は同行しない)
12:00 農家レストランぬくもり到着
現地案内者 岩淵正之助さんと合流
昼食
13:00 岩淵さん乗車 薄衣家菩提寺「安養寺」参拝
安養寺ご住職案内
川崎町 薄衣城跡見学(車中)
15:00 農家レストランぬくもり立ち寄り
岩淵さん降車 川崎町出発
16:30 道の駅とうわ解散(町井経由)



《交通手段》 東和交通観光(株)大型バス
《参加費》 東和おもしろ学会員 昼食代として1,000円
新規登録者 年会費2000円+昼食代1,000円
(家族会員は年会費500円+昼食代1,000円)
《申込期限》 令和元年11月18日(月)
《申込先》 東和おもしろ学事務局 多田 090-4317-2559



花巻市市民団体等活動支援補助金活用

《昼食会場》

農家レストラン 「ぬくもり」 千厩・川崎

住所 〒029-0202 岩手県一関市川崎町薄衣上巻121

農家レストラン 「ぬくもり」

この地域の秋のご馳走と言えば「カニぱっと」。
北上川に生息するモクズガニで出汁を取った郷土料理で、透き通っているのにコクがある濃厚なカニのスープに大根、人参、ネギなどの野菜とはっとがたっぷり。秋が旬ですが、一年中食べられるように真空冷凍で保存。おこわや漬物などの付け合せも心和む味です。
40人収容可能 カニぱっと料理



安養寺

一関市の仏教寺院

所在地: 〒029-0202 岩手県一関市川崎町薄衣字畑沢198

電話: 0191-43-3008



《概 要》

越前国大野郡鳥田城を居城としていた千葉弥四郎左衛門尉胤堅は、建長4年(1252)に陸奥国栗原郡の地に3,000余町を賜り、その抑えとして陸奥国に下向した。当初は磐井郡薄衣荘に居住したが、建長5年(1253)に薄衣城を築いて居城とした。

その後、千葉氏4代内匠頭清村は暦応2年(延元4・1339)、葛西高澄と交戦したが敗北し、その結果、千葉氏は葛西氏に臣従する事となった。この頃より千葉氏は薄衣氏を名乗ったものと思われる。天正18年(1590)、豊臣秀吉による奥羽仕置に置いて、薄衣氏の主家である葛西氏は所領没収となった。

この処分不満を持った葛西氏の旧臣たちは、天正19年(1591)に蜂起するが、秀吉の命を受けた伊達政宗の軍勢に敗れ、佐沼城に逃れる。佐沼城は伊達勢に包囲されるが、一方、同じく秀吉の命を受けた蒲生氏郷が中街道高清水より進軍を始めた。これに対して薄衣氏最後の当主である薄衣甲斐守常雄が立向かい、森原山にて激突した。薄衣勢は奮戦したが多勢に無勢、敢無く敗れ薄衣城まで敗退し、弟の左馬助常義と共に討死した。一説には北上川中河原にて自刃したともいう。

その妻子が重臣らとともに隠れ住んだ場所が花巻市東和町町井であり、現在も薄衣家直系の子孫が在住している。

薄衣氏の歴史

期 日 令和元年 11 月 24 日(日)9:30

場 所 町井ふるさとセンターおでって

講師 薄衣家 28 代 (14 代) 当主 薄衣照雄氏

あいさつ・講師紹介

講 義 内 容

- 1 薄衣家歴代の当主
- 2 中世時代
- 3 中世以降
- 4 その他

顕彰碑建立について

- ※添付資料
- ①薄衣家の系図
 - ②明治3年11月 薄衣常雄（つねかつ）公 300 回忌
 - ③薄衣家の由来と記録伝承
 - ④薄衣城跡（薄衣城跡保存会）
 - ⑤薄衣城跡縄張り図
 - ⑥新聞資料他

東和おもしろ学「薄衣氏の歴史」実施報告書

提出日 令和元年11月27日

提出者 多田悦子

タイトル	歴史講座1 町井薄衣氏の歴史
目的	東和町内の歴史秘話を探訪する。東和町町井の薄衣氏の歴史にスポットを当て、奥州仕置きで城を追われた薄衣氏の末裔に話を聞く。
実施期日	令和元年11月24日(日) 9:00～16:30
実施場所	東和町町井～一関市川崎町 薄衣氏の菩提寺、薄衣城跡他
内容	<p>講師 薄衣照雄氏 薄衣氏28代(14代)当主 東和町町井</p> <p>現地案内者 岩渕正之助氏 薄衣城守る会会員 一関市川崎町薄衣字畑の沢</p> <p>慰霊碑案内 石村幸隆住職 一関市川崎町薄衣字畑沢</p> <p>参加者 33人 講座のみ受講1人(おもしろ学会員) 当日申し出4人(うち子ども2人)参加無料扱 欠席1人</p> <p>9:00 道の駅とうわ集合 9:25 町井ふるさとセンターおでって到着 講義 「薄衣氏の歴史」歴代当主について系図を見ながら説明</p> <p>10:45 町井出発一関市川崎町薄衣氏発祥の地へ向かう</p> <p>12:30 昼食会場到着 現地案内者と合流 昼食を取りながら 町井薄衣家との交流、慰霊碑建立等について解説</p> <p>14:00 安養寺 慰霊碑参拝 本堂で焼香 小雨のため薄衣城跡散策断念。川崎町の道の駅を見学</p> <p>16:30 道の駅とうわ到着(一部降車) 町井経由 解散</p> <p>速報第12号参照</p>

経 費
収 入

項 目	金 額	内 訳
会費	38,000	新入会会費 2,000 円×19人
	2,500	家族会員 500 円×5人
	28,000	参加者全員 1,000 円×28人(昼食代)
お土産	9,000	薄衣照雄氏 5,000 岩淵正之助氏 3,000 円 薄衣憲雄氏 1,000
負担金	78,061	東和作戦会議・市民団等活動体支援事業
計	155,561	

支 出

項 目	金 額	内 訳
食糧費	32,695	昼食代 1000 円×30人(案内者、ドライバー含み) 車中配布用お茶(88×30人) 2,695 円
報償費	16,506	5,000 円×1人(講師謝礼) 訪問先 お土産 菩提寺、 案内者 講師返礼 2,006 円 岩淵正之助さん返礼 2,000 円 お布施 5,000 円
委託料	98,500	大型バス 98,500 円
保険料	5,600	200 円×28人
通信費	1,260	はがき代
借上げ料	1,000	町井ふるさとセンターおでって会場料
計	155,561	

薄衣氏の歴史講座アンケート結果

参加 33 名(講師・事務局含み) 対象 28 名 回答 25 名 回答率 89%
「薄衣氏の歴史講座」にご参加いただきありがとうございます。
ご面倒をおかけしますがアンケートにご協力をお願いします。
当てはまるものに○印をお願いします。複数に○を付けても構いません。
お帰りの際に、担当者にお渡しくださるようお願いいたします。

1 今回参加した理由をお聞かせください。

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 誘われたから | 6 |
| ② 歴史に興味があったから | 5 |
| ③ 地元の歴史を学ぶ良い機会だったから | 1 1 |
| ④ 自分のルーツに関する内容だったから | 1 0 |
| ⑤ 東和作戦会議の活動に興味があったから | 3 |
| ⑥ その他 | |

()

2 今回の講座に参加した感想は？

- | | |
|-------------------------|-----|
| ① 講義内容が良かった | 1 1 |
| ② 現地研修が興味深かった | 1 9 |
| ③ 大体知っていたが新しい発見があって良かった | 7 |
| ④ 自分が思っていたものとは違っていた | 0 |
| ⑤ あまり参考にならなかった | 0 |
| ⑥ その他 | |

- ・ちょっと難しかったかな？
- ・系図が良く分からなかった
- ・薄衣城に行けず残念

3 東和の歴史について特にどんなことが知りたいですか？ (複数回答可)

- | | |
|-----------------|-----------|
| ◇ 一揆の歴史 | 8 → 4 位 |
| ◇ 町内の城跡 | 1 1 → 2 位 |
| ◇ 神社仏閣 | 1 2 → 1 位 |
| ◇ 阿弭流為と東和地域の関わり | 8 → 4 位 |
| ◇ 安倍一族の歴史 | 9 → 3 位 |
| ◇ 丹内山神社の歴史 | 8 |
| ◇ 農民・商人の暮らし | 3 |
| ◇ 生活文化 | 4 |
| ◇ 自分のルーツに関すること | 6 |
| ◇ その他 | |

- ・隠れキリシタン
- ・ご祝い
- ・オペラ歌手伊藤敦子
- ・わらべ歌とその背景

4 皆さんがお住まいの地域に、紹介したい歴史的な言い伝えや、古くからの習わしなどがありましたらご記入をお願いします。

地域名 風習・言い伝えなど

- ・ 神楽に関すること
- ・ 館迫(立石も含)の地名の由来
- ・ 天保の百姓一揆のお墓
- ・ 江刺街道のルートが知りたい
- ・ たぶん全域＝正月行事と、その前後の農業関係予祝行事、さらに旧村毎ぐらの範囲ごとの差異

5 今回参加したご感想を自由にお書きください。

東和おもしろ学に関することでも構いません。

- ・ 同窓生グループ Line に話題提供したら、皆さん興味津々でした。
- ・ 地域振興課の歴史講座、東和の歴史と文化財を学ぶ会との連携・調整を。
- ・ 自分の一族の歴史を知り学ぶことができ、とても興味深い体験でした。また薄衣氏のことについて学びたいですね。
- ・ 講和の時間が短く、内容が十分理解できなかった。
- ・ 私共のルーツに関わる内容だったので大変参考になりました。計画いただいた東和作戦会議の皆様方にお礼申し上げます。
- ・ なごやかな雰囲気がとても良かった。農家レストランぬくもりのへ坂は、心臓が飛び出しそうだった。良く登った(79歳)
- ・ あらためて歴史をたどることがなかったので良かったです。
- ・ 薄衣氏の歴史大変興味深く勉強になりました。
- ・ あいにくの雨で城跡に行けなくて残念でした。スタッフの皆さんお世話様でした。
- ・ 薄衣照雄さんのお話の中で、古い古文書等が出てきたものを世間に発表することで、それまでの、ある程度歴史の事実として定着した事実を変えられなくて偽物呼ばわりしたり、ないものにしたり、果ては岩手大学に寄贈してしまい二度と見られなくなる資料等があることを知り、大変残念に思った。今日は学ばせていただきありがとうございました(寿)
- ・ 今日のように各氏ごとのルーツを訪ねる旅をすれば集客もしやすいし、一族ごとの結び直しの機会になれば幸い。
- ・ 祖先を思う気持、川崎から東和へ定住するまでの思い、子孫へ語り継ぐ難しさ、いろいろ考えさせられました。また機会があったら参加したいです。敗れたものの歴史は残らないということを実感。
- ・ 聞きたいと思っていたことだったので、とても良かったです。途中で終わったのでまた機会があればと思っています。
- ・ 薄衣城へ自由散策でも良かったので時間を取ってほしかった。その他は申し分なかった。事務局関係者様ほんとうにありがとうございました。

★歴史講座2

歴史の風をまとい、未来へはばたこう

東和おもしろ学ツアー 歴史講座

安俵城主 小原氏の歴史

花巻市文化財専門官中村良幸さんと歩く安俵高館跡

令和元年12月2日(月)9:00~12:00 道の駅とうわ発着

主催:(一社)東和作戦会議

共催:東和の歴史と文化財を学ぶ会



- 9:00 道の駅とうわ集合 出発(マイクロバス)
- 9:30 東和町安俵 安俵城跡(車中見学)
小原氏の歴史について講義
- 10:00 高館移動(バス下車徒歩にて)
館跡見学開始
- 11:00 二子城跡見学(短時間)
- 11:30 更木館(しらゆり公園)車中見学
- 12:00 道の駅とうわ 到着解散

《参加費》

東和おもしろ学会員 無料
東和の歴史と文化財を学ぶ会会員無料
東和おもしろ学 新会員 2,000円(家族会員1人500円)

《参加・入会申込先》

(一社)東和作戦会議事務局 多田悦子
電話 090-4317-2559

安俵城=土沢の南1kmの地、比高7mの丘陵上に位置する。城域は大きく南北二つに分けられ、北側半分は連郭式に一ノ郭・二ノ郭・三ノ郭、と南北に区切られている。それぞれの郭は堀によって囲まれており、一部には土塁も利用されている。南半分は城内町と呼ばれ、城下町が形成されていたものと思われる。安俵の城郭を守るように二つの館がある。

押蕪館=安俵愛宕神社を含む尾根に「押蕪墳墓」と呼ばれる方形の近代墓二基あり

★高館=擬押蕪館の南側にあり、尾根上に九郭以上の平場がある典型的な連郭式山城。

今回は高館跡を見学。主家和賀氏との関わりについても学習します

《安俵城》

安俵城は坂上田村麻呂により築城されたという伝承が残るが、その確証を示す資料は無い。確実なところでは、谷内の丹内山神社にある室町時代の棟札に「安俵玄蕃頭平義重」という名が残されており、その頃からこの地は安俵氏の支配下にあったものとされる。

－和賀氏の重臣・小原氏の居城－

安俵氏は和賀氏の重臣である小原氏と同族であるとされる。小原氏の出自は不明であるが、在郷の豪族であるとも、和賀氏に従って入部した一族であるともされている。

小原氏は当初、狭良城（更木城）に移住したが、小原氏の初代・義郷の代には倉沢城に移住した。その後、二代・政継は応永7年（1400）、安俵城に居城を移した。

－和賀氏の没落－

天正18年（1590）、豊臣秀吉の奥羽仕置において主家である和賀氏が所領没収となると、小原氏10代・忠秀もこれに従って追放された。小原氏が去った後、この地は南部氏が領有する事となり、安俵城には南部氏の家臣・中野修理直康（九戸政実の弟）が城代となって管理したが、天正20年（1592）に破却された。

その後、慶長5年（1600）の関ヶ原合戦の際、南部領内にて和賀一揆が勃発した。これは伊達政宗が和賀氏旧臣を煽動し、和賀氏旧領にて蜂起させたものとされ、この一揆において忠秀は旧主・和賀忠親に従って、かつて江刺氏の家臣であった原体主膳が守る安俵城を攻撃した。

しかし、あえなく一揆は南部勢により鎮圧され、翌慶長6年（1601）に和賀忠親と共に伊達領の仙台にて死去した。その死は自害とも、一揆の扇動の発覚を恐れた政宗による謀殺ともいわれる。安俵城は土沢の南1kmの地、比高7mの丘陵上に位置する。

城域は大きく南北二つに分けられ、北側半分は連郭式に一ノ郭・二ノ郭・三ノ郭、と南北に区切られている。それぞれの郭は堀によって囲まれており、一部には土塁も利用されている。

南半分は城内町と呼ばれ、城下町が形成されていたものと思われる。

《二子城》

二子城は和賀氏代々の居城として知られる。中心部分に「白鳥館」と呼ばれる城主の居館が存在し、周辺には家臣団の屋敷が配置されていた。1590年（天正18年）、和賀義忠は小田原合戦に参陣しなかったため、豊臣秀吉による奥州仕置で所領没収となったが、秀吉の軍勢が帰還すると、葛西氏や大崎氏の旧臣が旧領回復のために蜂起し（葛西大崎一揆）、義忠らもこれに呼応して二子城を奪い返した（和賀・稗貫一揆）。しかしこの一揆は伊達政宗・蒲生氏郷らによって鎮

圧され、義忠は逃亡途中で殺されたといわれる。現在城址は「飛勢城公園（市立公園飛勢城跡）」

として整備されており、土塁や堀切などの遺構が確認できる。また、大手門は南部氏が花巻城に移したとされている。

《更木館跡（現しらゆり公園）》

更木館は和賀氏の居館であり、黒岩城から本拠を移したとされる。さらに後には更木館から二子城に居城を移したという。地元では館主として多田（和賀）式部太輔忠明の名が伝わっている。和賀氏が二子城に移った後は、和賀氏の重臣である八重樫源蔵が居館した。その後も更木館には家臣が居を置いていたものと思われる。

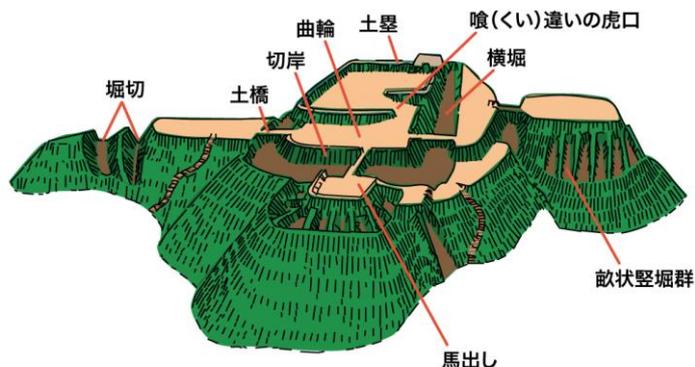
和おもしろ学ツアー「小原氏の歴史講座」実施報告書

提出日 令和元年12月4日

提出者 多田悦子

タイトル	歴史講座2 東和おもしろ学ツアー安俵小原氏の歴史講座
目的	東和町内の歴史秘話を探訪する。東和町安俵の小原氏の歴史にスポットを当て、山城高館跡を見学し、主家和賀氏とのかかわりを学ぶ。さらに東和町との交流がある川崎東和OB会の皆さんの岩手訪問にあわせ、東和ツアーの一環として実施する。
実施期日	令和元年12月2日(月)
実施場所	東和町安俵城跡、山城高館跡、北上市二子城跡、更木館跡
内容	<p>講師：花巻市総合文化財センター 文化財専門官 中村良幸さん（花巻市小舟渡）</p> <p>参加者：30名（おもしろ学会員10名、新会員17名（川崎関係8名含む） 東和の歴史と文化財を学ぶ会会員3名）</p> <p>行程：道の駅東和発着（9:00）＝安俵城跡（9:10）＝高館散策（9:30） ＝北上市二子城跡（11:30）＝更木館跡（12:10）車中より＝道の駅とうわ（12:30）道の駅味処とうわ 希望者のみ昼食会（～13:30）</p> <p>東和地域と交流の深い、川崎市教職員組合OB会のみなさんが会員登録。 地元会員とともに交流を兼ねて実施した。高館の現地見学では、1時間にわたり山の斜面を歩き通しだったが、当時の山城の存在意味や敵を防御するための工夫など中世の城づくりの実態を学んだ。また、和賀氏の家臣であった小原氏の足跡をたどるため、北上市二子町の二子城跡を見学した。</p>

中世山城のイメージ図



文化庁監修「発掘調査のてびき各種遺跡調査編」の図206を基に作成 © nippon.com

経 費
収 入

項 目	金 額	内 訳
会費	30,000	新入会会費 2,000 円×15 人
	1,000	家族会員 500 円×2 人
負担金	29,725	東和作戦会議・市民団等活動体支援事業
計	60,725	

支 出

項 目	金 額	内 訳
需用費	5,280	消耗品キャノンOAインク 326+325 6MP 5,280 円
報償費	5,000	5,000 円×1 人 (講師謝礼)
委託料	49,500	大型バス
保険料	5,600	200 円×28 人
通信費	945	官製はがき @63×15 枚
計	60,725	

安俵小原氏の歴史講座アンケート結果

参加30名（講師事務局含み）対象26名 回答26名 回答率100%

「安俵小原氏の歴史講座」にご参加いただきありがとうございます。

ご面倒をおかけしますがアンケートにご協力をお願いします。当てはまるものに○印をお願いします。複数に○を付けても構いません。お帰りの際に、担当者にお渡しくださるようお願いします。

1 どちらからご参加ですか？

① 東和町内 15 ②東和町外8（・花巻市内2 ・その他 6）

2 今回参加した理由をお聞かせください。

⑦ 誘われたから 6
⑧ 東和地域の歴史に興味があったから 17
⑨ 安俵小原氏に興味があったから 8
⑩ 自分のルーツに関する内容だったから 2
⑪ 東和作戦会議の活動に興味があったから 5
⑫ その他1（東和交流）

3 今回の講座に参加した感想は？

⑦ 講義内容が良かった 12
⑧ 現地研修が興味深かった 21
⑨ 大体知っていたが新しい発見があって良かった 3
⑩ 自分が思っていたものとは違っていた 1
⑪ もうひと工夫あればよかった（具体的に） 0

4 今後どのような講座があったら良いと思いますか？（複数回答可）

① 歴史に関すること 16
・藩境等番所の歴史 藩政時代の東和
・丹内山神社 三熊野神社に関すること
・毘沙門のカラスの小正月
・押蕪館
・丹内山神社の過去
② 生活文化に関すること 7
・江戸時代の東和の風俗
・土沢城 江刺氏
・方言 東和弁
・東和町の今の産業と文化について
③ 自然に関すること 7
・白山のミステリー坂
④ ものづくりに関すること 9
・オリジナルの木工細工など
⑤ 芸術、郷土芸能等に関すること 7
・神社と神楽
⑥ 東和の偉人に関すること 7
・産業振興に尽力した人
・産業を導入した先人
・萬鉄五郎の友だち

5 講座参加費について伺います。年会費としてどの程度が妥当だと思いますか。

① 1,000 円以下 → 3人 ② 2,000 円 → 13人 ③ 3,000 円 → 4人

④ 興味があることならいくらでも → 1人 (何回実施するかによるが)

6 今回参加して感じたことをご自由にお書きください。東和おもしろ学に関する
ことでも構いません。

- ・地元学をますます深めてほしい。若い人たちにもっと参加してもらい、郷土の歴史と文化に誇りをもってほしい。
- ・百聞は一見にしかず。現地研修最高です。
- ・木の実拾い、動物の痕跡見つけも楽しかったです。自然に出来たものではなく造られたものだという事は、教えてもらわないとわからないことだったので、とても勉強になりました。他の場所でもそんな目で見ていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・事務局さま たいへんご苦勞様でした。感謝申し上げます。
- ・座学も良いが、今回のようなツアーも楽しかったです。
- ・今回参加して東和町に住んでいても知らないことばかりで、とても良い経験でした。山も久しぶりに登り、安俵小原氏、二子城跡、更木館跡いろいろ勉強になりました。また参加したいです。
- ・歩くのが遅くご迷惑おかけしました。ただし、到着すると先生の話が始まっていて、お話を全部聞くことができなかつたのが残念でした。
- ・山の中、集団行動ができにくく、講師の先生のお話が聞き取りにくかつたのが残念でした。
- ・参加者の年齢を考えると、コースがきつかつた。
- ・山城の防御施設についての解説がとても良かつたと思います。山城を攻める兵士の苦勞が体感できました。
- ・自分が暮らしているところでも、いろいろ知らないことばかり。勉強になりました。みんなで行くからあのようなところも歩けました。楽しかつたです！！
- ・東和のおもしろ学は奥が深いと思います。まだまだ、歴史上の事柄は出てきそうですね。芸能 歴史にも興味があります。

★ガイド・語り部講座

ツアーガイド養成講座実施企画

- 1 目的 東和地域に観光客を呼び込み、誰もが、観光スポットや文化、歴史、史跡などのガイドができるようになることを目的に、花巻市内の観光ガイドの実情を学び、ガイド実践者との交流を行う。
- 2 共催 東和の歴史と文化財を学ぶ会
- 3 実施期日 令和2年1月21日(火) 13:30~15:00
- 4 場所 東和コミュニティセンター 会議室
- 5 講師 花巻市観光協会 花巻おもてなし観光ガイド
葛岡貞典さん(東和おもしろ学会員)
- 6 内容 ①講義
タイトル 「花巻の観光ガイドの活動とガイド実践のノウハウ」
 - ・花巻市の観光ガイドの活動について
 - ・観光ガイドを行うことになったきっかけ
 - ・ガイド初心者へのアドバイス
 - ・観光ガイドを行っていくうえでの課題②交流
 - ・質疑応答
 - ・ツアーガイド講座に参加した感想
 - ・東和地域内の観光スポット紹介(東和作戦会議)
- 7 参集範囲 東和のガイドを行ってくれそうな方々に声をかけ集まってもらう

- ・東和交通観光から
- ・東和温泉又は道の駅とうわから
- ・歴史と文化財を学ぶ会
- ・地域おこし協力隊
- ・おもしろ学会員及び事務局

計20人程度

※東和おもしろ学会員へ案内送付

※その他参集者へは事前に打診したうえで案内文を送付する

東和おもしろ学「ツアーガイド講座」実施報告書

提出日 令和2年1月23日

報告者 多田悦子

タイトル	ツアーガイド講座
目的	東和地域に観光客を呼び込み、誰もが、観光スポットや文化、歴史、史跡などのガイドができるようになることを目的に、花巻市内の観光ガイドの実情を学び、ガイド実践者との交流を行う。
実施期日	令和2年1月21日(火) 14:30～15:30
実施場所	東和コミュニティセンター第1会議室
内容	<p>1 共催 東和の歴史と文化財を学ぶ会 2 講師 花巻市観光協会</p> <p>花巻おもてなし観光ガイド 葛岡貞典さん (東和おもしろ学会員) 花巻市葛</p> <p>3 内容 講義</p> <p>タイトル 「花巻の観光ガイドの活動とガイド実践のノウハウ」</p> <ul style="list-style-type: none">・花巻市の観光ガイドの活動について・観光ガイドを行うことになったきっかけ・ガイド初心者へのアドバイス・観光ガイドを行っていくうえでの課題・質疑応答・ツアーガイド講座に参加した感想・東和地域内の観光スポット紹介 (東和作戦会議) <p>4 参加人数 講師含め22名</p> <p>※ 事業期間内に実際のガイド体験をする機会を設ける</p>

経 費

<収 入>

項 目	金 額	摘 要
会 費	4,200	資料代 200 円×21 人
負担金	2,800	東和作戦会議・市民団等活動体支援事業
合 計	7,000	

<支 出>

項 目	金 額	摘 要
報償費	5,000	講師謝礼 1 名
食糧費	2,000	お茶代甘酒 2ℓ×1,000 円
合 計	7,000	

ツアーガイド講座アンケート結果

参加22名（講師・事務局含み） 対象17名 回答17 回答率100%

この度は「ツアーガイド講座」にご参加いただきありがとうございます。ご面倒をおかけしますがアンケートにご協力をお願いします。当てはまるものに○印をお願いします。複数に○を付けても構いません。

1 今回参加した理由をお聞かせください。

- | | |
|----------------------|---|
| ⑬ 誘われたから | 8 |
| ⑭ ツアーガイドに興味があったから | 7 |
| ⑮ 他団体の活動を知る良い機会だったから | 2 |
| ⑯ 東和作戦会議の活動に興味があったから | 4 |
| ⑰ その他（ ） | |

2 今回の講座に参加した感想は？

- | | |
|--------------------------|---|
| ⑫ 講義内容が良かった | 4 |
| ⑬ 花巻市全体の観光ガイドの内容が分って良かった | 9 |
| ⑭ 東和地域に限定した内容の方が良かった | 3 |
| ⑮ 実際にやってみたいと思う気持ちが湧いてきた | 0 |
| ⑯ 実際に自分がやるのは難しいと思った | 4 |
| ⑰ その他（・難しかった） | |

3 今後更に講座を実施していくとしたらどのような方法が良いでしょうか？

- | | |
|--------------------------------|----|
| ① 講師を招いて今回のような講座を開く | 6 |
| ② 実際に観光ガイドの方に案内してもらいながら現地学習をする | 11 |
| ③ 東和地域の観光名所や観光スポットのあぶり出しをする | 8 |
| ④ 実際に観光ガイド体験をする | 5 |
| ⑤ その他 | |

（講師は淡々とした語り口調であるが、時々ユーモアの落とし穴がありました。魅力的なお話でした）

4 今後ツアーガイド講座を開催する際にご連絡しても差し支えありませんか

- | | |
|-----------------|----|
| ① 差し支えない | 13 |
| ② 友人なども誘って参加したい | 1 |
| ③ 連絡は特に必要ない | 2 |
| ④ その他 | 2 |

5 今回参加したご感想を自由にお書きください。

- ・場所に関わらずガイドをする心構えややり方を知りたかった
- ・ちょっとした雑学を学べて良かったです
- ・ツアーガイドも面白いことが大事だと感じました。学者のような知識はあまり必要ないかも。ルーツを知っていることは必要だと思います
- ・歴史は深く リンクさせると面白い
- ・ガイド養成をするのか、何をするのか不明

東和おもしろ学「ツアーガイド現地体験」報告書

1月21日に開催した「ツアーガイド講座」の際に「ツアーガイド現地体験」を開催することになり下記のとおり実施した。

記

- 開催期日 令和2年2月20日(木) 9:00～12:00
- 開催行程 道の駅とうわ9:00～胡四王山～賢治詩碑～羅須地人協会～道の駅とうわ 11:10 ※
昼食会 味処東和(昼食代各自負担) 12:00 解散
- 内 容 「ガイドの活動とガイド実践のノウハウ」

講師 花巻市観光協会花巻おもてなし観光ガイド 葛岡貞典さん

日程に従い、講師からガイドのポイントなどについて学んだ。ツアーガイド講座受講者10名講師1名計11名参加。賢治ゆかりの地を巡るということで、車中では「精神歌」の合唱を行うなど終始和やかに行われた。終了後は『味処とうわ』で昼食を取りながら、感想などを話し合った。

《参加者感想》

- 東和町外から参加した。何故か東和に来やすく、図書館も東和を利用して。そこで、おもしろ学を知り参加するようになった。身近な歴史に触れることができ、とても良かった。
(小山田振興センターの講演会にも行ってきた。講師がとても良いことを話していたので参考にと、その時のチラシをいただいた)
- Uターンで東和に帰ってきて、当時何も知らなかったが、歴史と文化財を学ぶ会でいろいろ学んだ。お客さんが来た時に、東和地域内など案内ができるようにガイドのコツを学びたいと思っていた。今回参加できてよかった。
 - 北海道に赴任していたときに鉾山案内のガイドをした経験があり、今回のガイド講座を参考にさらにガイドにも目を向けていきたい。
 - 昔、毒沢から賢治の史跡見学に歩いて行った思い出がある。胡四王山や賢治についてある程度知っていても、ガイドする方の知識やガイドの仕方でもまた違ったことを知ることができる。
 - 東和出身で、今は他市に住んでいるが、東和の歴史に興味がある。今回の賢治をめぐるツアーガイドも参考になった。
 - 近くに有名な観光地や観光施設があってもなかなか機会がないと行けないが、今回初めて行ったところもありとても良かった。
 - 胡四王山、賢治記念詩碑など小学校以来。初めて行ったような感じでとても新鮮で勉強になった。
 - トイレの場所を教えておくとか、見学ルートや所要時間にも配慮したり、ガイドポイントが示されていてとても参考になった。
 - ガイド体制の継続のためには、ガイドの有償化やガイド先からのリポートなど、ボランティアのみに頼らない方向も検討が必要だと思う。

《講師から》

その人なりのガイドの仕方があり、正解はない。個性を生かしてガイドしていくことが良いガイドをするコツとも思う。

ポイントをつかんでおくとガイドがやりやすい。東和にはたくさん良いところがあるので、どんどん紹介していくと良いと思う。自分も、おもしろ学会員なので、今後は皆さんから指導していただきたい。

8 決算 収入

項目	金額	摘要
負担金	34,700	東和おもしろ作戦会議・市民団等活動体支援事業
合計	34,700	

支出

項目	金額	摘要
報償費	5,000	講師謝礼
委託料	29,700	マイクロバス(17人乗り)
合計	34,700	



胡四王神社社殿 1867 完成。拝殿の欄間、脇障子には、昇り龍、降り龍。後ろの本殿には鯉の滝登りの素晴らしい彫刻が施されている。花巻の名匠、二代目高橋勘次郎とその弟子小原喜代治(東和出身)の作と言われている

正月 2 日の蘇民祭で、蘇民袋を奪い合う男たちが、勇壮に駆け降りる北の参道・石段。



胡四王山に六つあるという珍木のひとつ、二人で触ると愛が成就すると言われる「愛染の杉」



宮沢賢治記念詩碑（羅須地人協会跡）

明治 45 年頃祖父の隠居所として建てられ、その後妹トシの療養所、そして大正 15 年賢治居住、羅須地人協会として 2 年余使用された。高村光太郎揮毫の詩碑がある。建立後、判明した誤りを正すために、光太郎の追刻が行われたという珍しい詩碑。 下ノ畑も遠望



道の駅とうわの「味処とうわ」で昼食をとりながら、感想発表。お天気にも恵まれ、楽しいひとときを過ごした参加者、笑顔がほころぶ



花巻農業高校そばに移築された現在の「羅須地人協会」。冬季は閉館となっているため、中を見ることはできなかった。建物内部は当時の間取りとは若干違っているが、庭園の石碑には精神歌が刻まれ、賢治のスピリットは今も引き継がれている。
花農同窓会が移築、庭園整備

2019とうわ産業まつり出展企画書

開催日時 11月 9日(土)10:00~16:00

10日(日) 10:00~15:30

1 目的

当社の活動を地域にPRし、理解してもらうことにより、充実した農旅効果に繋げる。

2 出展内容(案)

- (1) 農旅紹介コーナー
速報展示
一般社団法人東和作戦会議 パンフレット
ツアー及び視察等受入状況
築の上プロジェクト紹介
- (2) 東和のお土産開発コーナー
お土産品開発ワークショップの経過展示
- (3) 東和棚田のんびりラン写真展コーナー
- (4) 東和おもしろ学実施経過展示
 - ・草木染成果品展示
 - ・巨木巡り写真展
 - ・郷土食「こびり」 子や孫に伝えたい行事=本で紹介
我が家に伝わる郷土食、自慢料理などを立ち寄った人に記入してもらい張り出す。
- (5) 上映コーナー(プロジェクター、スクリーン必要)
東和棚田のんびりラン2018 前年度の長バージョンドローン映像

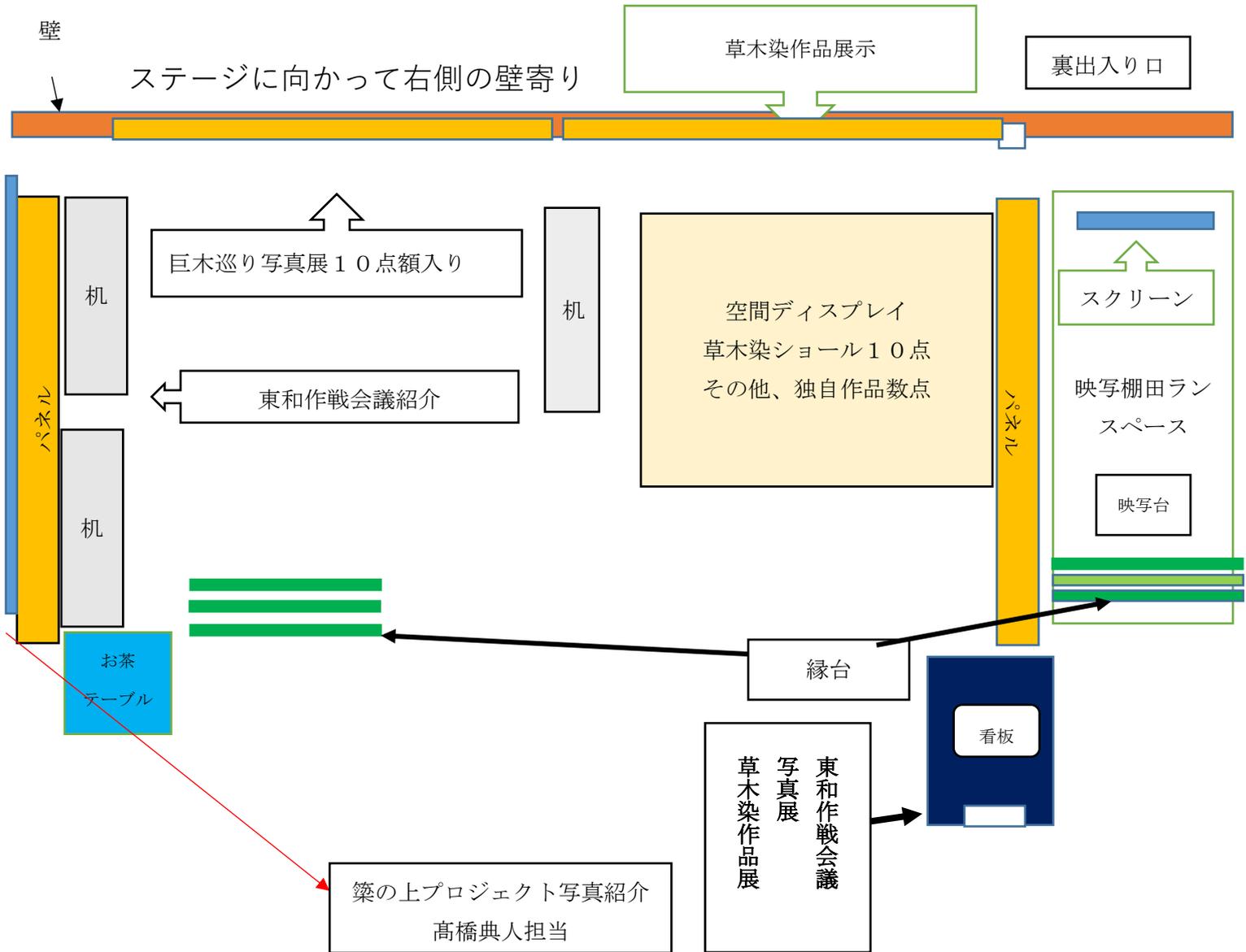
3 予算

東和おもしろ学事業から	12,000円
草木染展	5,000円
写真展	5,000円
郷土食展	2,000円

4 駐車場

コミセンの前が関係車両駐車場	
8日 大石、多田	
9日 大石、役重、多田	3台確保
10日 大石、多田	3台確保
11日 多田	

4 農旅ブースレイアウト



5 農旅ブース 従事者

11月 8日 (金)	準備作業	大石文子	多田悦子
11月 9日 (土)	役重眞喜子	大石文子	多田悦子
11月10日 (日)	大石文子	多田悦子	
11月11日 (月)	後片付け	多田悦子	

● 必要物品準備関係

項目	必要物品	内 訳	個数	担 当
総 合	消耗品 看板類 会場ディスプレイ	模造紙 筆記用具 付箋 縁台、緋毛氈 看板 休憩用お茶、テーブル等		多田 (8日トラックで搬入)
農旅紹介	速報	1号～9号	10部	多田 //
	紹介パンフ		10部	多田 //
	ツアー視察受入状況紹介関係	東和のパワースポット巡り JA花巻女性部ツアー6/1 日居城野関係(写真)10/2 東和農旅プラン いいなはんふるさと教室秋9/18 布目の里農泊推進協議会(写真) 9/30	各1部	藤井 菅野 菅野 大石 大石、菅野、多田 //
	アートクラフトフェア紹介関係	写真集	1部	役重、小田、多田
	やなのうえプロジェクト紹介関係	2020年本格オープンに向けて (模造紙)	2枚	高橋典人
東和のお土産品開発	ワークショップの経緯関係	速報により紹介 成果品棚田セット	1セット	多田
東和棚田のんびりRun	2019年の写真展関係	模造紙	1枚	役重 //
	2018年の長バージョンドローン映像関係	映写機 ドローン映像		多田 東和図書館 役重
東和おもしろ学	東和弁ゼミな～る関係	写真集	1	多田 大石 8日セッティング
		堰根侘さん書籍	1	
		民族行事使い慣れた言葉	1	
		ふる郷に伝わる使いなれた言葉(方言) ふる郷の「ムラ」の移り変わり	1	
草木染講座作品展	写真集、作品 フック、紐、ハンガー、木製イス、籠			多田 大石 8日セッティング
東和の巨木巡り写真展	巨木巡り参加者の中から希望者の作品を展示する。 額入り又は黒い模造紙に貼る	予定 20点		多田 大石 8日セッティング
郷土食「こびり」 子や孫に伝えたい行事＝ 本で紹介 立ち寄った方に想いでの 家庭料理あるいは自慢の 家庭料理を記入・	関係図書、 記入用付箋(大) 筆記用具 貼り付け用模造紙	5～6冊 2セット 1枚		菅野 多田 8日セッティング

東和おもしろ学・産業まつり実施報告書

提出日 令和元年11月11日

提出者 多田悦子

タイトル	東和の産業まつり 2019 出展
目的	当社の活動を地域に PR し、理解してもらうことにより、充実した農旅効果に繋げる。
実施期日	令和元年11月9日(土)10日(日) 10:00~16:00 (2日目~15:30)
実施場所	東和体育館
内容	<p>出展内容</p> <p>(1) 農旅紹介コーナー 速報展示 一般社団法人東和作戦会議 パンフレット ツアー及び視察等受入状況 築の上プロジェクト紹介</p> <p>(2) 東和のお土産開発コーナー お土産品開発ワークショップの経過展示</p> <p>(3) 東和棚田のんびりラン写真展コーナー</p> <p>(4) 東和おもしろ学実施経過展示 ・草木染成果品展示 ・巨木巡り写真展 ・郷土食「こびり」 子や孫に 伝えたい行事=本で紹介 ・我が家に伝わる郷土食、自慢料理などを収集。</p> <p>(5) 上映コーナー (プロジェクター、スクリーン必要) 東和棚田のんびりラン2018 前年度の長バージョンドローン映像</p> <p>(6) 東和弁収集</p>

経 費

収 入

項 目	金 額	内 訳
負担金	7,773	東和作戦会議・市民団等活動体支援事業
計	7,773	

支 出

項 目	金 額	内 訳
消耗品	3,040	展示用背景紙 ラシャロール4セット @760×4(税込み)
	765	展示用クリアブック @382.5×2(税込み)
	1,328	草木染展示クリップ @664×2セット(税込み)
	2,640	写真展 写真プリント代 @826×4枚
計	7,773	

★東和おもしろ学学園祭

東和おもしろ学 学園祭企画

- 1 目的 花巻市民団体等活動支援事業補助金活用事業の集大成として実施。会員の親睦を図る。
- 2 日時 令和2年2月24日(月・振休) 午後1時30分から3時30分
- 3 会場 東和コミュニティセンター和室
- 4 内容
 - ① 展示コーナー
 - 活動ポスター10枚程度
 - 東和の巨木写真展(2月1日から24日まで) 最終日に外して各自持ち帰る。
 - おやつアンケート
 - 速報
 - ② 東和の巨木巡り写真コンクール表彰式
 - ③ 「土澤の熊」朗読劇 劇団よぐまんづ東和町
 - ④ 交流会
おもしろ学会員はじめ参加者の親睦交流 (お茶と地元のこびり)
ツアーガイドお試し実演など
- 5 参集範囲
 - 東和おもしろ学会員
 - 一般社団法人東和作戦会議 理事 社員招待者
花巻市 東和総合支所支所長
東和荘デイサービスセンター所長
講師陣(工藤順子さん 大和久彰さん 多賀谷真吾さん 薄衣照雄さん
中村良幸さん 葛岡貞典さん)
東和野鳥の会 代表 斎藤秋雄さん
東和の歴史と文化財を学ぶ会 代表 平野保さん 梅原無石さん
劇団よぐまんづ東和町 代表 晴山准子さん他
東和町総合サービス公社
- 6 次第
 - ① 開会
 - ② 代表理事あいさつ
 - ③ 来賓祝辞
 - ④ 講師陣紹介
 - ⑤ 「東和の巨木めぐり写真コンクール」表彰式
 - ⑥ 歴史朗読劇「土澤の熊」 劇団よぐまんづ東和町公演
 - ⑦ 交流会(対象講座 受講者感想発表など)
 - ⑧ 閉会
- 7 その他
閉会后東和の巨木写真展の写真撤去作業
出展者にも手伝ってもらい、出展者持ち帰り。
- 8 申込み期限
令和2年2月17日(月)

9 予算

<収入>

項 目	金 額	摘 要
参加費	10,000	@ 5 0 0 × 2 0 人 (招待者以外)
負担金	60,240	東和作戦会議・市民団等活動体支援事業
合 計	70,240	

<支出>

項 目	金 額	摘 要
報償費	55,000	公演謝礼 劇団よぐまんづ東和町 シナリオ作成料 "
食糧費	15,000	東和のこびり@ 4 0 0 × 3 0 人 飲み物@ 1 0 0 × 3 0 人
使用料	240	和室暖房料 @ 120 × 2 時間
合 計	7 0,240	

東和おもしろ学 学園祭開催報告

2020年2月24日(月・振休)東和コミュニティセンターセンター和室

花巻市民団体等活動支援事業補助金を活用し実施した「東和おもしろ学」の集大成として、事業の振り返りと今後の方向性を探り、会員の親睦を図るため「学園祭」を実施しました。会員20名その他6名劇団員8名計34名が参加。代表あいさつの後、精神歌を参加者全員で斉唱。写真コンクールの表彰式などを行いました。さらに東和作戦会議企画、劇団よぐまんづ東和町作成による歴史朗読劇「土澤の熊」の上演を行いました。



あいさつ
おもしろ学学園長
東和作戦会議薄衣代表理事

昨年6月から実施してきた東和おもしろ学は東和を知り、発信、伝承する目的で活動してきた。学園祭は、これまでを振り返り、次に進めるために行うもの。反省点やご意見をいただきステップアップしていきたい。



東和の巨木写真コンクール表彰式
表彰状を受け取る準特選の平野保さん(右奥)
特選1点、準特選2点、入選4点
特選には審査員多賀谷慎吾さんの写真集と同ポストカード。準特選、入選者にもポストカードが送られました。



歴史朗読劇「土澤の熊」上演 天保時代の一揆のエピソードを朗読

劇に作成。作・劇団よぐまんづ東和町 演出：熊谷恵
荒くれ者のクマは、母の言葉でまっとうに生きることを決意するが、一揆に巻き込まれそうになった仲間を助けるために、封印してきた荒ぶる心を解き放ってしまう。そして・・・

《キャスト》

写真右から 語り部＝准ちゃん。おかあ＝和ちゃん。
本家のじさま＝助さん。嫁ご＝富貴ちゃん。クマ＝タカヒロ。
役人＝たかちゃん。おんつあま＝ゆうちゃん
演出＝熊さん



こびり「ひな饅頭」で交流会



上演後、参加者の中から役者を募り、最後のシーンを上演。突然の役者指名にも、動じることなく堂々と演じる「おもしろ学会員」

《配役》写真右から
おんつあま＝平野保さん。おかあ＝下明久美さん。 本家のじさま＝今橋克寿さん。 よめご＝千葉まゆみさん。
補助 スケさん、ジュンちゃん



<収入>

項目	金額	摘要
参加費	10,000	@500×20人(招待者以外)
作戦会議	424	繰入
合計	10,424	

<支出>

項目	金額	摘要
公演謝礼	5,000	劇団よぐまんづ東和町
茶菓代	5,064	東和のこびり@130×35人 4,550円 飲み物 1.5ℓペットボトル3本 514円
暖房使用料	360	和室 @120×3時間
合計	10,424	

おもしろ学学園祭アンケート

この度は「学園祭」にご参加いただきありがとうございます。
ご面倒をおかけしますがアンケートにご協力をお願いします。
当てはまるものに○印をお願いします。複数に○を付けても構いません。
お帰りの際に、担当者にお渡しくださるようお願いいたします。

参加 20名 回答 15名 回答率 75%

1 あなたは次のどの項目にあてはまりますか？

- | | |
|-------------------------------------|----|
| ⑮ おもしろ学会員 (年会費 2,000 又は 500 円を納めた方) | 10 |
| ⑯ 会員ではないが、何回か参加したことがある | 0 |
| ⑰ 講師として参加した | 2 |
| 21 共催、協力団体として参加した | 2 |
| 22 事業には参加していなが、今回おもしろそうなので参加した | 1 |
| 23 その他 | 2 |

2 会員及びこれまで「おもしろ学事業」に参加したことのある皆さんに伺います。おもしろ学に参加した感想は？

- | | |
|----------------------------------|----|
| ⑮ 歴史学がおもしろかった。 | 13 |
| ⑯ 自然観察や草木染など自然を活かした講座が面白かった | 4 |
| ⑰ バスツアーで体験したことが面白かった。 | 6 |
| 21 東和弁の収集活動が面白かった | 2 |
| 22 身の回りのおもしろいことに気づくことが多くなった。 | 1 |
| 23 地域の良さをガイドができるように勉強してみようと思った。 | 2 |
| 24 地域の食の豊かさを伝承していくことに興味を持った。 | 2 |
| 25 今残さなければならぬことや次代に伝えるべきことがわかった。 | 3 |
| 26 その他 | |

(具体的に)

3 今日の学園祭に参加した皆さん全員に伺います。今後さらに講座を実施していくとしたらどのような方法が良いでしょうか？

- | | |
|---|---|
| ⑥ 地域の歴史についてもっと知りたい。講師を招いて講座を開く | 7 |
| ⑦ 実際に地域の良さをガイドできるようバスで現地学習をする
例えば何処？ () | 2 |
| ⑧ 東和の自然を知る、活かす、魅せるような講座
例えばどんなこと？ () | 7 |
| ⑨ 生活に密着した内容のものを面白く学びたい
例えば？ () | 2 |
| ⑩ 他地域との交流などを実施して東和の良さを伝えてみたい
例えば？ () | 1 |
| ⑪ その他 | 5 |

(具体的に)

5 東和おもしろ学に関することや主催団体である一般社団法人東和作戦会議に対し、ご意見やご要望などがありましたらご自由にお書きください。

- 全講座に参加できなかったのが残念(巨木巡りだけ)地域にはもっともっと大切なものが眠っているような気がします。
- 土澤のクマに感動。演出が良かったです。演技者ひとりひとりの良さが出ていました。
- 今後は、他所の人々から東和の良いところを教えていただき、確認し、次に発信の方向に取り組むと良いと思います。
- バスツアーに参加したい。
- 東和の魅力を発信できるように勉強していきたい。
- 劇団よぐまんづ東和町を江刺に呼んで講演してもらいたい
(奥州市江刺岩谷堂在住 及川ミキ子)
- ぽつんと一軒家で紹介された飛龍山、その周辺の歴史。
横川省三エピソード(盛岡市五百羅漢で語り聞かせる人がいます)
- 指定文化財巡り
- この団体の存在を地域に認識され、広がりを見せるには、最低10年はかかると思います。粘り強く続けていくことを切望します。
- おもしろ学で学んだことが、今回の劇で表現され素晴らしかった。始めから涙がこぼれた。
- 土澤の熊に出演させていただきありがとうございました。母の一言に人生をかけました。(なんちゃって)
- おもしろ学ツアーで、山(高館)を歩き、苦勞もしたが面白かった。またいろいろなところに行ってみたい。
- ガイド講座を延長し、今後受講者が、それぞれの特色を出し、東和町内複数のツアーを企画し、現地ガイドを互いにするような企画、実施も面白いと思います。
- いろいろ楽しい学びがありましたが、平日で参加することができませんでした。残念でした。今日は精神歌の歌唱、朗読劇体験、楽しく過ごしました。

★生活文化に関する調査・ふるさとの味調査結果

ふるさとの味調査結果

調査日	令和元年11月9日～10日		
会場	東和体育センター（東和産業まつり （一社）東和作戦会議ブース）		
記入者	15名		
内容	・ごはん・おかず		9品
	・こびり		4品
	・その他 昔おいしかったもの等		27品
レシピ・内容	別紙のとおり		

<別紙>

ごはん、おかずの部

<おふかしアラカルト>

- 小豆・・・先に固めにゆでておく。
- くるみ・・・味付けは、しょうゆ：砂糖（ザラメ）：酒が、1：1：1
- 吹き寄せ（五目）しょうゆ味
- さつまいも、栗
- すりごま、しょうゆ、砂糖

- もち米を一晩浸水、水をよく切る。
- 強火で20分、白ぶかしにする。
- シトを打つ。その時に味をつけたり、具の材料を入れる。また20分蒸かす。
- 上にごま塩を振ってもよい。

このほかに、豆ごはん、コーンごはんなども。

（安俵 多田福子）

<伝えたい味>

- 小豆がゆ・・・邪気を払う。七草汁とセット
- 具たくさん汁もち（しょうゆ味）冬の味
凍み大根 にんじん ごぼう きのこと類たっぷりの汁。
具がたくさんで、もちが隠れるほど入れる。

（南成島 藤川束子）

<かす汁（鮭汁）>

材料	鮭頭	白菜	玉ねぎ	大根	にんじん	ごぼう	しいたけ
	ネギ	とうふ	みそ	酒粕			

- 温まって、冬は喜ばれた。
- 酒屋に出稼ぎする夫は、酒粕をたっぷり持ち帰った。

（北小山田 下坂誓子）

<白和え>

材料	ほうれん草	しらたき	にんじん	きのこ	とうふ
	しょうゆ	みりん			
	(菊の花、くるみは好みで使用する)				

- 豆腐を粗くつぶして、水をよく切る。すり鉢ですると、口あたりがなめらかに。
- 食材をゆでて、しょうゆ、みりんの下味をつける。
- 豆腐と和える。

この料理は、季節の野菜をたっぷり食べるのに便利。精進料理の定番です。

(中内 千葉依子)

<牛乳寄せ>

材料	牛乳	1リットル	酢	およそ50~80CC
----	----	-------	---	------------

- 牛乳を煮立たせ、火を止めて酢をゆっくり回し入れるとたんぱく質が寄ってきます。
- 布でこして、熱いうちにおかかしょうゆで、冷めたら少しあぶってもおいしい!
- こした汁はカレーやスープにして楽しめます。
牛の出産直後の初乳は出荷できないので、酢で寄せて食べました。昭和30年代からの思い出です。

<つとっこ納豆>

- 大粒大豆をよく煮て、納豆菌をまぜ、わらで作った“つと”の内側にホウの木の葉を敷いて、先の煮豆を入れ、つとの口をしめて、わらで2か所くらいまるく(しばる)。
これを豆1升から8本作った。ビニール袋に入れて毛布にくるみ、豆炭こたつで2昼夜
で納豆になった。糸を引かない時は、塩をまぶして干し納豆にした。

(鷹巣堂 菅野 和)

<ナンバンみそのほど焼き>

材料	青ナンバン	ふきの葉	みそ	砂糖
----	-------	------	----	----

- ナンバンを縦半分に切って種を取り、中にみそと砂糖を混ぜたものを詰めて、ふきの葉に包んで 囲炉裏の熱い灰の中に埋める。
- ふきの葉がこげたころ、ナンバンがしんなり。酒の肴、ご飯の友として最高。人寄せや家の普請などによく作ってくれた。今ならアルミ箔に包んで焼く。忘れられないおひいさんの味

(石鳩岡 菊池佐和子)

<ピーマン入りなんばんみそ>

材料	青ナンバン	400g	ピーマン	400g	麴	1200g	白砂糖	1kg
							しょうゆ	1升

- 鍋に麴、砂糖、しょうゆ、刻んだナンバンとピーマンを入れる。
フードプロセッサーを使うと便利。
辛さによって、ナンバンとピーマンの割合を調節するとよい。
- 火にかけ、かき混ぜながら沸騰直前まで温める。
- 一晚置く。
- 次の日、弱火で5分~15分くらい、練り上げる。

200ccのジャム瓶に25個くらいできます。

(舘迫 大石文子)

こびりの部

<みょうが焼き>

材料	みょうがの葉	小麦粉	砂糖
----	--------	-----	----

ばし

- ・小麦粉を水で溶いて、砂糖少々入れて、みょうがの葉の半分にスプーンでの

フライパン等で焼く。

石鳩岡に嫁いできて、珍しいと思ったおひいさんの味
香りが良くて美味しかった。

(石鳩岡 菊池佐和子)

<切りせんしょ>

材料 (30 個分)	うる粉	600 g	ザラメ	300 g	しょうゆ	120 c c
	水	800 c c	サラダ油	大匙1	ごま	大匙3
					くるみ	30 個位

- ・調味料を煮立てて、砂糖がとけたら油を入れる。
- ・菜ばし1本を鍋に立てて、粉を一気にいれてフタをする。1分煮立てる（フタにすきまのある状態にする。）
- ・フタをとる。かき混ぜずに放置1分。
- ・粉に、ところどころ穴をあけて、均一の火通りにする。
- ・弱火にして、1分くらい菜ばしで混ぜる。
- ・余熱のあるうちにごまを混ぜて、生粉がなくなるように木べらでこねる。
- ・3時間くらい常温で新聞紙をかけてねかす。
- ・冷めたらステンレスのボウルに移す。（くっつかなくて良い。ビニール袋でも良い）
- ・しなみが出るまで良くこねて、50gにちぎって丸める。
- ・巻きもち状に丸い円にして中心を押す。
- ・水でぬらしたスプーンで、周囲を花びらのように型をつける。
- ・その花びらの中心にくるみを置く。
- ・スチーマーで25分蒸す。
- ・出したらあおぐ（照りがでる）。

(外谷地 宮川一子)

<どんどん焼き>

材料	小麦粉	水	卵（あれば）	切昆布	小口切ネギ	桜でんぶ
	しょうゆ	桜えび（あれば）	油少々	七味唐辛子（好みで）		

- 小麦粉を水で溶いて、昆布とネギを入れて混ぜて、フライパンに油をしき、薄く種を丸く伸ばして焼く。
- 生焼けの頃に、桜えびとでんぶをちらす。両面を焼く。
- お皿に移して、好みのしょうゆをかけて、七味を振って熱いうちに食べる。
実家の宮城県岩沼のオリジナルお好み焼きです。
おやつ兼お昼のおかずになりました。

（鷹巣堂 澄川早苗）

<がんづき>

材料	小麦粉 300g	がまずみジャム	大さじ1	砂糖 250g	卵 2個
	酢 100cc	牛乳 200cc	みそ 大さじ1/2	はちみつ	大さじ3
	サラダ油少々	重曹 15g			

- 卵の白身を泡立てて、酢を入れる。
- 牛乳と油とジャム、はちみつ、みそを入れて混ぜ合わせ、白身と混ぜる。
- 小麦粉と重曹を混ぜて振るいにかけて、砂糖を入れ、上記と混ぜる。
- これを30分蒸す。
2段型の蒸し缶の内側に牛乳パックを切って立てる。（蒸気を逃がす）
クッキングペーパーを敷いて、上記を流し込む。
5分蒸したら、鍋の上団を半回転して、さらに25分蒸す。

（石鳩岡 菊池拓子）

昔おいしかったもの

<ひなまんじゅう>

- つぶあん+こしあん少々 皮は食紅入りのピンクと白いままのぼかしにしていた。
ふっくら、こんもりした丸型が、母の手の形のようにおいしかった。

<田植えのごちそう>

- ホウ葉にのせた赤飯、鯖節とフキの煮つけ、わかめと切り干し大根の酢の物
二十日大根の漬物

(外谷地生まれ 前田の斎藤久子)

<みょうが焼き>

- みそ味や、紅生姜入りもあった。

<エントツパン>

- 煙突型パン焼き器で作ったパン。くるみを入れた。
七輪にのせて焼いた。錫物製で両面焼ける。

<焼きもち> (ゆでもち)

- 中に甘みそが入っていた。青しそで包むこともあった。“鎌焼き”とも言った。

<葬式まんじゅう>

- 下瀬の万吉まんじゅう、わらじのサイズ。大きくて切り分けて食べた。
あぶって食べてもおいしかった。台所手伝いのお返しは決まってこれだった。

<手延べうどん>

- こねる、延べる機械があったので、よく母が作った。自分も作った。煮干し出汁でネギ程度の具だった。

<もちせんべい>

- 近所のおばあちゃんが焼いていた (小原一夫さんの祖母)。
10枚をわらで縛って (まるって) 売っていた。薄くてぱりぱりで、少しこげた味が旨かった。母乳がよく出るとか、お湯にふやかして離乳食にもした。天然のはちみつや水あめ、おこわ等をはさめば、ご馳走だった。
- まつりの行事の時、鶏をつぶした。父が上手だった。

昭和 10~20 年代の味

(鷹巢堂 小原 宏)

<カレー>

- ・誕生日とかに食べた。中身はウサギの肉やさんま缶、くじら肉缶だった。しょうゆ汁にカレー粉と小麦粉を溶いて、とろみをだした。

<手づくり豆腐>

- ・近くに豆腐屋があり、油揚げもおいしかった。油揚げを焼いて、かけ醤油、大根おろしが乗ることもあった。

<つめり団子> (ひつつみ)

<果報団子>

- ・お金が入っていた。お大師さんのお年取りに食べた。

<煮麦>

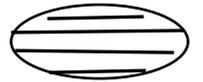
- ・いつでも食べた。根菜たっぷり、味がよく浸みていた。

<ぜんまい煮つけ>

- ・にんじん、こんにゃくと煮る。これを白和えにもした。
梁川の昭和 10~20 年代の味 (梁川生まれ 鷹巣堂 小原富子)

<切せんしょ>

- ・わらじのようじ大きく作り、箸で模様をつけた。抜き型もおもしろかった。
(もも、菊、三つともえ、一富士二鷹三なすび など)



<小麦まんじゅう>

- ・皮に黒砂糖(玉砂糖)が粒々に入っていて、おいしかった。こしあんだった。

<風邪をひいたときのごちそう>

- ・片栗粉を練ったもの、すりおろしりんご 香煎(麦こがし=えっこと言っていた)を練ったもの

<正月のとろろ飯>

- ・安俵は元旦に食べる。

(安俵 小原富士子)

<紫波のはっと>

- ・小豆ばっと・・・粉あんと小麦粉で作った。

<ごま飯>

- ・もち米とうる米を混ぜてたかな？ すりごまを混ぜて炊く。塩と砂糖味？

<果報団子>

- ・洗ったお金が入っていたら大当たり。小枝が入っていたらがっかり。

<彼岸まんじゅう>

- ・春と秋。実家に拝みにくる人たちはまんじゅうを持参。
お返しもまんじゅう、からめもち、切せんしょとかだった。

<早苗ぶり>

- ・近所の田植えの結っこの慰労会。クキ（ハヤ）の塩焼きが旨かった。

<庭払え>

- ・もち料理各種。鷹巢堂に嫁いで、汁もちにくるみをつけるのに、びっくりした。

<秋祭り>

- ・実家に帰ってくる人たちをもてなした。お膳料理だった。

<とろろ飯>

- ・とろろご飯が元旦、または1月2日の朝の風習だった。

<餅つき>

- ・東和のほうが餅つきが多いと思った。行事のたびに餅だった。
- ・12月は毎日のように神さんのお年取り
大黒さん・・・まっか大根（二股に分かれた大根）をさん俵（粗く編んだ敷物の
ような俵のふたの形）に乗せて、神棚に供える。
お太師さん・・・果報団子
恵比寿さん・・・尾頭付きの魚（鯛を買えないと のこともあった）
- ・お正月・小正月
1/7 七草汁、小豆がゆ 1/11 肥しよい 1/14 お田植え
2月 人形祭り・・・半紙に顔を描いて、体を拭い、家の境に立てた。
3月3日 ひなまんじゅう・・・もちまんじゅうのうえに色ザラメを乗せる。
5月5日 節句もち・・・嫁が実家に2枚のお供えをしょうぶの葉を添えて持
参。実家では1枚をお返しにする。

（片寄生まれ 鷹巢堂 佐々木皇子）

★あとかき

「東和おもしろ学」には、大勢の皆さんにご参加いただきありがとうございました。

花巻市のご支援をいただき、昨年6月から始まったこの講座では、東和を知ること、おもしろいことや、次の世代に残したいもの探しを行ってきました。

まだまだ、「おもしろいこと」が周りにたくさんあることがわかりました。ひとりひとり「おもしろいこと」を見つけて仲間と一っしょに動き出しましょう！そして、全国にいる東和の知り合いに声をかけましょう。自分の言葉で東和を紹介しましょう。子どもたちに東和の面白さを伝えていきましょう。

この事業に興味を持って参加いただいた皆さん、ご支援ご協力をいただいた皆様に深く感謝申し上げます。

一般社団法人東和作戦会議 東和おもしろ学事務局

東和作戦会議速報 第1号から第15号

歴史朗読劇 「土澤の熊」

作 演出 劇団よぐまんづ東和町

キャスト

語り部・役人

クマ

母

嫁ご

本家のじさま(肝煎二役)

かまどのおんつあま(村びと 二役)

村びと1

村びと2

村びと3

ストーリー

その昔。土澤の熊と呼ばれし男あり。

ときは天保の頃、南部藩の悪政に苦しむ農民たちは、死罪を覚悟のうえで一揆を企てようとしていた。

その折も折、この企てを聞きつけた南部藩の役人が、一揆を抑え込もうと首謀者を捕え、五大堂の寺の下という屋敷にて詮議を行おうとしていた。

そのことを聞きつけた土澤の熊は、「一揆を行ったわけでもない者を捕えるとは何事か」と寺の下に駆け付け、稲杭を以て、役人に襲いかかり、はからずも役人のひとりを撲殺。

土澤の熊は、このままでは、家族、身内にも危害が及ぶと、毒薬を飲んで自害した。

そののち、「下郎にしては、あっぱれのもの」とのちの世までも語り継がれることとなった。

語り部

昔、あつたずもな。ある村に大きな男わらす産れだど。いまであれば4000gもあつたべが、大した大きな男わらすだつたずお。

母

ううう、いででで う！産れる〜！！
がんばれ！がんばれ！それ！ひ〜ひ〜ふ〜。

クマ

おんぎやー。おんぎやー。

母

あんりや。おら、熊の子、生み落どしてすまつたべが。

語り部

ほつほ〜。見事な男わらすだな？

村びと1

こつたに毛むくじやらな赤んぼみだごどもねえ

村びと2

熊みでえにおつそろしい面構えだがら、土澤のクマつて呼ぶべ。

村びと3

そんだな。

語り部

こうして村びとたちは、この赤んぼを勝手にクマと呼びならわすようになった。

クマと呼ばれるようになったこの男わらす、歳を重ねるごとに、力有り余つて乱暴者に育つてすまつたど。

クマ

おらあ、どうせクマだ。暴れだつてあたりめえだべ。文句あるが。

村びと1

ひえ〜。いででで。かにしてける。

村びと2

そつたに、けつっはだぐなでば。

村びと3

ひや〜。投げ飛ばされで足の骨折れだ。あだはだがれだ〜。

村びと1

おら、耳たぶかじられで血止まらね。

クマ

ははははは〜。は〜あ。おもしれがった。

語り部

まんず、あの男わらす。きつかねわらすに育

母

つて手に負えなくなつてすまつた。これがら、手あますだなや。

おらえのクマがお申す訳ながんす。まだクマがやつてすまつたつて。もしやげねなつす。

あやや〜。まだやらがしたつてすか。かにしてけでや〜。

語り部

クマのおどきとおがさ〜、毎日のように隣近所さ謝つてあるつてらつたど。

母

おら達夫婦にや、ながなが子ができねくて、やつと生まれだこのわらすが、めぐくて、めぐくてしかだねエます。んだがら、甘やがしてすまつたがもすんね。

なんぼ、熊のように恐ろし気な面つきしてらつて、めぐくてしかだねのす。

んだども このままでは、そのうち人を殺めるごどになるがもしれね。

そつたなごどになる前に、なんじよにがすねばねえな。

静かな音楽
こりやこりや。クマやクマ。

おめえがなんじよな荒くれものでも、腹痛めて産み落とした、おらのわらすだ。

おら、おめえが愛おしくてなんね。すたども、人様に後ろ指されるようなごどになるのであれば、先祖様にも申し訳がただね。おめえを殺して、おらも死ぬがらごごさ来(〜)。

おがさ
お母さん。おら、悪がった。

死ぬなんていわねでける。

おれのせいで、おがさまおどきも苦しめ
でらったど気がつがねがった。

人より力あるごどを良いごどに、良いも
悪いも考えねえで、暴れでらったす。

これがらは心入れ替えて、人様の役に立
つようにするがら、堪忍してくなんせ。

母 クマ、分つてけだが、分ればええ。分ればえ
え。

語り部 それがらのクマは、よぐ稼かせんで、人の分も
荷はしを運び、人手がなくて難儀えしている家の
手伝えいもよぐやつて。村の衆がらもありがた
がられるようになったど。

村びと1 おう、クマ、今日も荷背負い頼んでえが？

クマ ええよ！

あした

村びと2 おう クマよ。明日「こなずばり」頼むじゃ。

クマ ええよ！

村びと3 くまちゃん。腰巻洗つてけねが？

クマ ええよ？ そいずあわれでやれじゃ。

語り部 そのうぢ、クマも年頃になつて、嫁ごもらつ
た。

めげえ嫁ごもらつて、貧しくても家族仲良く
暮らしてらつたど。

嫁ご おめえさま。今日の月はことのほか美しがんす。
クマ なになに、あの月もおめえの美しさに比べた
らなんぼのもんでもね。

ありや、見ろ。月もしよすがつて、雲さ、か
ぐれでしまつたでは。ハハハハハ。

嫁ご あんや。おしよす。おめさま。

村びと1 ほほ！ながえごど。

村びと2 ほほ！けなるごど

村びと3 ほほ！てるる。

語り部

ところが、この頃の藩主さまあ大した適当な
お方で、じえにつこ使いすぎでは、百姓にそ
のつけ押し付けで、われぱり結構な暮らしを
しておつたずおな。こころあたりの百姓も我
慢の限界。あちこちで、むしろ旗立てて、百
姓一揆が起つてらつたど。

役人

こりや、ここさ集まつて何を企ででおるが。
事のあらましを取り調べるによつて、ひつと

役人たち

はは。こりや、こりや神妙にする。

村びと1

「おらだづあ、何もしてねます」

役人

逃げるなこりや。

村びと2

「あくイデデデ」

ドタンバタンという音

語り部

ばんかた

ざいしよ

庭払いの晩方、クマの在所の肝煎だの、若
い衆が、花巻の番所がら来た役人だちに捕えら
れですまつたど。

役人

つち さわむら

これより土の沢村 肝煎 権左衛門、百姓一
揆企ての疑いにより詮議をいだす。そごさ直れ。

肝煎

なぬしたつてす。おらだづあなんにもしてねま
す。一揆の企てなど、そつたな大それだ事あし
てねます。

語り部

そごさ、駆け込んできたのが、クマだつたすお。
クマの手さ握られだつたのは、はせがける
時に使う、長くて太つて稲グイ。そいず持つて、
思いつき振り回したつお

クマ

こりや！このこつぱ侍どもが！なにしたつ
ておらほの肝煎様捕縛しやがった。

今日は、庭払いのめでたい宴席。みなみな賑や
かに豊作をよるごんでいたところ。

ほかの村々ならばいざしらず、おとなしく言い
つけ守つて暮らすこの村の長を、何の証拠も
ないままにひつとらえるとはなにごとか。人の
道にあらず！

効果音

我にかえるクマ

ああ、おれどしたことが、ついつい、昔の癖が
出て、気持ちのままに暴れですまつた。

クマ

申し訳ないごどした。ちつと力入りすぎだな。

こおりや。てえましなごどしてすまつた、
役人様。だいじようぶだんすか？

うううううう。

役人

村びと2 てえへんだ！てえへんだ。クマが暴れで、お
役人さまうち倒してすまつた！

少しの間

クマ

あく。おら、とんでもねえ過ちを犯してすまつ
た。あれほど、おがさんから言われおつたの
に。気持ち収まらねえで、お役人さまを殺め

ます。あや

このままでは、可愛い嫁ご、大事なおがさん、親類縁者にも害が及ぶ。俺一人の仕業であれば、皆々にはおとがめの及ばねえようにすねばなんね。

語り部 何事が、覚悟を決めたクマは、その足で家さ帰ったど。

クマ 今帰ったぞ。
嫁ご あんりやまゝ。おめえ様青い顔してなにしたます？おせがったなす。

母 腹減ってるんだべ。今日は庭はれえだから、ごっつおう用意すてらぞ。つたて、イワシの尾頭つきだどもな。ハハハ
ほれ、こつちや来て食え

クマ ありがでえ。おら、腹減つてらつたもや。
嫁ご だども、まんま食う前にみんなあさ、べつこ話がある。本家の爺さま。かまどのおんつあま。よんできてけねべくが。
母 ほいさ。んでちよつくら行つてくる。

母 こりやく、嫁ご、腹おつきんだがら、そつたに走るんでねえ。
嫁ご はい。おがさま。

母 ほれほれ、ひつつみでも食つて。おどでな仕込んだ酒つこのむが？

クマ んにや。酒つこはあどで飲む。

語り部 かがは、かがいしく、ひつつみをよそつたり、酒つこ爛ついたり、あれこれ世話して、にこに

こど 迎えさ行くまでもね。二人そろつて、そこではつたり会つたますじや。
嫁ご 迎えさ行くまでもね。二人そろつて、そこではつたり会つたますじや。

クマ じさま、おんつあま、これがら、語ることは、みんな、本当のことだます。
嫁ご じさま、おんつあま、これがら、語ることは、みんな、本当のことだます。

母 おら、わらしの頃は、きかなくて、与作の腕へし折つたり、佐吉の髪むしつたり、ま、ほかに、いっぺ迷惑かけてきた。んだども、おがさんがら、おめえ殺して俺も死ぬつて、諭されてからは、歯食いしぼつて、理不尽なことにも我慢して、なんぼ貧乏しても、だれかの役にたつてれば、いつかは償いできる、報われる日も来るべがど。俺なりにがんばつたす。

母 本家のじさま おお、おお、わがつてる。中風で寝込んだ千助爺さんどこの「肥え出し」がら、田の草どり。足わるぐなつた竹ばあさんどこの荷背負い。
クマ シンシヨ傾ぎかけだ与之助んどこで、売れ残つた金物売つてすけでらつけな。

クマ かまどのおんつあま
おめえの親父死んでがらは、おがさん助けでようぐ稼いだ。隣のばさまの腰巻も洗つてけでらつけな。

クマ 腰巻は、洗つてね。(淡々と)
さあで、ところが、嫁ごこももらつて、わらしも生まれるという、にこさきて、おら、お

がさんの言いつけ守れねえで、役人打ち殺してしまつた。

母・嫁ご 「ええええ〜」
「何してまだ」

じさま おらだずも今、肝煎の家で聞いてきた。

おんつあま クマよ。何したつてまだ。そつたなごどになつたや。

クマ ちろはた
あちこちで、筵旗あがつて、一揆の取り締まり厳しくなつてるのは聞いていたつたんだが、隣村の作兵衛さんがら、ちよつくら話でえごどあるつて。

じさま 庭払いのことにして、肝煎のどこさ、何人か若けえもの呼んできてくれねえがつて、頼まれだんだ。

クマ おら、うすうす気はついでいだんだが、隣村の話つこも聞いておいだほうやがんで思つて、肝煎ど相談して、与作だの佐吉だのさ、声かけで、集まつてもらつてらつたんだ。

おんつあま なんにんぐれえ集まつたんだ？

クマ 十人ばかり集まつた。
ほんで、もう一人ぐれ、いだほうよがんで、弥助のごど迎えさ行つた。そのすきに、どやどやド、役人だちが捕り押さえてきたつていうんだ。肝煎も、佐吉も、与作も引つ立てられだつて聞いて、とつさのごどで、気が動転して、そ

ここにあった稲グイ引っこ抜いで……寺の下の詮議場さ行った。木っ端役人ども逃げ回って振り回した棒杭さ、逃げ遅れだ年寄り役人がぶつかって……。医者どのさ担ぎ込んだが、おそらく死んだべ。

じさま・おんつあま 大きなため息

母と嫁ご 手を取り合って泣いている。

クマ この後に及んで申し開きはすね。人ひとり殺めですまったんだ。

捕まってはりつけ磔 獄門も覚悟してるが、そうやっては、おがさん、嫁ごさも取り手が来ねえとも限らね。本家様、おんつあまにも迷惑がかかる。

おれは、この宴を冥土の土産に、おどさのもとに参る。

おがさ、捕り手が来たならば「クマのくされわらす、悪さして申し訳ながった」とくれぐれも庇かばいだですぬようにたのむあす。

心残りは、我が子の顔を見られねえこと。おがさま、嫁ごの行く末だます。じさま、おんつあま、この先、くれぐれもよろしく頼みあ

んす

じさま 覚悟は変わらねえが？

クマ 覚悟は変わらねます。さ、嫁ご、酒っこついでける。

嫁ご おくいおくい。なんじよにが、ならねもんだべが。

クマ なんじよにもならね。産れてくるわらしのため

にも、ここは、こうするしかね。己おのれの身から出た錆だ。俺が責任とらねばね。それが男というものだんべ。

嫁ご 「おくいおい」

語り部 嫁ご泣きながら、湯呑(ゆのみ)茶わんさ、なみなみど酒っこついでずお。

母 クマや。この程も おめえは、人様のために立派に力を尽ぐしたなあ。

べっこ力が強すぎだが、われ一人のために暴れだのではねえ。おめえが、理不尽なごことにも、こぶしぎっちり握って我慢してらのを知らないわけではねえぞ。

良ぐやった。良ぐやった。クマ

語り部 おがさは、クマをひしと抱きしめると、クマは男泣きに泣いだど。

嫁ご お腹さすりながら「おくいおい」と泣く。

おがさも泣く。

じさま・おんつあま ともに泣いだ。

全員 おくいおい。

クマ それでは、皆の衆おさらばじゃ。

語り部 クマは懐からトリカブトの粉をとり出し、嫁ごに、なみなみど 注いでもらった湯呑茶碗さトリカブトの粉入で一氣に飲み干したど。

全員 正面向いて クマや~~~~~!!

静かな音楽

母 おらえの腐れわらし、取り返しのかねえ事してすまって、お申しわけながんした。

嫁ご …… 離縁すたます。

んだども、おら、クマのおがさんの面倒は最後までみるあんす。

一粒種のクマの子もでえじに育てるます。

じさま あど始末は滞りなく済ませだ。家族にも親戚にもお咎めなしだ。

おんつあま 安心せえ。クマ。

クマ おらのごどは忘れでけろ〜!

全員上を向く
静かな音楽消える

語り部 今、土澤のクマを知る人は、一人もいねえど。

どこの家えの何と言うものだったんだが。本当の名前を知るものは誰もいね。

どごぞの誰がが記したという藩はんの日記に

「土澤の熊と呼ばれし男あり、下郎にしては武士にも勝る、あつばれな男であつた。」

と少しばかりその名前が残るのみなんだとさ。

全員 どんどはれ

これ知ってる？

東和弁 小辞典

あ

あいづ
あうえに
あおのろし
あがす
あがたあんすじゃ
あがつておじえ
あがりつば
あぎえ(あげ)
あぎここつ
あぎた
あぐ
あぐで
あぐど
あげ(ん)ず
あげつば
あさま
あしえっこ(あせっこ)
あしえる

あの人 あれ
たまに、時々
青大将
灯り
ごめんください。来ました。
「が」↓鼻濁音 音
おあがりください。「が」↓鼻濁音
上がり框 「が」↓鼻濁音
赤い
少し飽きてきた
あご 「ぎ」↓鼻濁音
灰
悪態 悪口
かかと
赤とんぼ
家庭残飯を捨てる場所
朝方
ご飯のおかず
合わせる

あしかた
あじ(ず)だす
あすた
あせくせ
あだはる
あだぶ
あだりほどり
あだりめ
あちこど(あんつこど)
あっちゃ
あつば
あどくやみ
あどまる
あばいえ
あによめ
あねこ
あねさん
あのかな
あぶりご
あべ
あめくせ
あめる

足跡
思い出す
明日
汗くさい
仇をはる、
荒振る舞い 乱暴
周囲 周辺
当たり前
心配事 案じること 案じ事
あちら
母親
後悔
後に回る 最後の方になる
さようなら さらば
兄嫁
娘 女の子
お姉さん 兄嫁 おじょうさん
あのですね
焼き網
行こう
ものが傷んだ臭いがする
ものが傷む

あらがだ
あらみ
あれえもの
あんたに
あんぶぐ
あんべ
あんや

い

いえまち
い(え)ずくて
い(え)だます
い(え)がった
いぎえ
いぎがる
い(え)げすかね
いさばや
いしえとり
いしえわらす
いしよがす
いっしぎ
いっただまだ
いっときま

大方 ほぼ
表通り
洗いもの 洗濯物
使い終わった食器など
あのように あんなに
あぶく 泡
具合
あらまあ

怪我
きまりが悪い おさまりが悪い
もったいない
良かった
勢いが良い
生意気
いけ好かない きわめて好きじゃない
魚屋
卵を抱く
ひねくれた子ども
忙しい 「が」↓鼻濁音
ことごとく、全部
たちまち あっという間に 一度に
少しの間

いっぱだ
いっぺえ
いづくされ
いづだり
いで
いらいやつ

う

う(お)ざねはぐ
うすろけし
うすろこ(く)ど
うそこぎ
うだで
うな(が)
うなど
うめえ
うめもの
うるがす
うるだぐ(うろでえぐ)
うんず
うんだ
うんと
うんにや・うんにえ

気儘 自分勝手
たくさん
意地悪 意地悪な人
悪いタイミングの時
痛い
偉い人

苦勞する
裏返し
後頭部
嘘つき
鬱陶しい
あなた お前 君
(「が」)↓鼻濁音
あなた方 お前さんたち 君たち
美味しい
美味しいもの
浸して置く
慌てふためく 急ぐ
宵っ張り
そうです
たくさん
いいえ

え

え
え
えあんすじや
ええそうぐれ
ええふりこぎ
ええが・ええごど・えがべ
えがぎ
えぐ
えぐね
えぐね
えげる (えぎえる)
えんず
えしえる
えずぐ
えだった・える・えね
えづくる
えづくつて
えつくれ

家
良い
よろしいですよ
御愛想 愛想をふりまく
格好つける 格好つけた人
良い人ぶる
いいですか・いいですね・
良いでしょう
画家
行く
良くない
家の周りに植えた暴風のための木
その周辺のこと。「ぐ」↓鼻濁音
会う 行き会う
気持ち悪い しつくりこない
拗ねる
吐く 吐き気を催す
居ました・居ます・居ません
いじくる もてあそぶ
気持ち悪い、ぴったり来ない
きまりが悪い
いい加減に

お

えつつに
えつとり
えつぺえ
えでっこ
えでかがる
えどし
えな (えなさん)
えばる
えま
えまつつちや
ええます
えのめ
えらすぐね
えんつこ
えんだ
当の昔に
合どり
たくさん
相手方
得意分野
身内どうし 同級生
お兄さん お婿さん 若旦那さん
威張る
今
良いよ
良いです 良いですよ
家の前
小憎たらしい
昔赤ちゃんを入れていたわらで編んだ籠
良いでしょう
おえる
本家
母親
お菓子
おかしい 滑稽 怪しい 不思議
貴人・偉人の妻 他人の妻 御方
おんかた

おごうご

おがる

おきっこ

おぎねえ

おぎねえはぐ

おしよす

おじよる

おしえろ

おしやえる

おせあっこ

おそべ

おだず

おだえもつ

おづげ

おづげ

おっかね

おっかながる

おっけす・おっける・おっけた

おっば

おっばずぐ・おっちよる

おどげ

おどぎやる

漬物 香の物

大きくなる 成長する 「が」↓

鼻濁音

燻

溜息 古くため息のことを「おぎ

ねえ」と言っていた

ため息をつく 苦勞する 難儀

する

恥ずかしい

推し寄る 避ける

教えてください

おさえる

鬼ごっこ

口笛

はしゃぐ

お金 金銭

味噌汁

使い 招待

怖い

怖がる

転ばせる 転ぶ 転んだ

尻尾

折る

あご

突然の「喝」で物事を治める 鎮

圧の声

落ち返るの転訛

おごらみ

おでれ

おでつてくね

おでつてくなんせ

おどげる

おどでな

おどどし

おどつつあ

おにや

おはえなす・おはよござんす

おびぐ

おふるめ

おべだ

おぼっこ

おもやみ

おらほ

おれ おら

おめ

おもしえ おもすれ

おもで

おやがだ

おんず

おんば

おんずさん

ふらつく考えや迷いを一喝

雷がおどぎやる↓雷が落ちる

おもらみ 風格 貫禄 「ご」

↓鼻濁音

おいでなさい

おいでください

おいでになつてください

ひょうきんなことをする

一昨日

一昨年

父親 おやじ 〓おど

お庭 外庭 表庭

おはようございます

轟く

御振る舞い 宴会

知っている 覚えた

おぼこ

思い悩み

私の家 私の方

私

あなた

面白い 嬉しい

重い 重たい

兄

次男以下の男兄弟

長女以外の姉妹

おじいさん

おんちや・おんつあま

おじさん

か

がおる

かが かつちや

かがる

がぎ

がぎやんど

かぐす

かぐれがっこ

かご

かさっこ

がしえっこ

かしえぐ

かしえる・かしえろ

かじえる(かぜる)

かしぎ・さがし

かしけ

かだごど

疲れる

妻 母親

襲いかかる

子ども

子どもたち

ポケット

かくれんぼ

桑の実 「ご」↓鼻濁音

椀の蓋

元気 勢い

がしえっこね↓元気がない

稼ぐ 働く お金を儲ける

「ぐ」↓鼻濁音

食べさせる 食べさせろ

かしえね↓食べさせない

数える

炊事

【語源】

かしぐ

賢い

堅い まじめ 正直

かだごどな人↓堅物

かだぶぐ

かだひた

かだま

かだる

かつこむ

かつきね

かつたず

かつたぐる

かつちやぐ

かつつあ

かつつぐ

かつとす

かつつあろう

かつぱずれる

かつぱれとる

かつぱとる

かつぼとる

かつちやます

か데미し

かばね

かながら

かにする

かね

結婚する

片一方

片馬↓一駄の半分

加わる かでる↓加える

口にかきこむ

限度がない 限りがない

支度する

掻きたくる 擦り剥く

ひつかく

原形のまま 磨かない

加工しない 軽い

追いつく

追い抜く

奪い取る

欠きはずれる

足をふみはずして泥水などに足がつか

ってしまうこと

かつぱれとるとおなじ

ひつかきまわす

大根、菜っ葉などを入れたご飯

身体

かんから

鉋殻 木材に鉋をかけた時に出る屑 「が」

↓鼻濁音

許す かにしてけろ↓許してください

かにすね↓許さない

食べない

かぶづく
かます
かまど

かぶりつく
掻き回す
分家 本家から煮炊きする竈を分けたこと
とから

かまどけす(し)

破産する 竈かまどを返す 破産した人

かまる
かみげす
かみてす
かむな

臭いをかぐ
噛み返す
紙の無駄遣い
構わないで そつとしておいて

からがく

絡からげる 括くくる

からげ

播鉢 素焼きの土器

からししゃぐ
からしげれ
からせづね
かんげる

余計なお世話 差し出口
雪が降らない日で、ひどく寒いこと
うるさい

かんじよ

かじかむ
丈夫 頑丈

かんだじ

雷雨 急に降る雨 夕立

がんだ
かんつける

雁の首 雁の頭 似ていることから亀頭
人に擦り付ける 他の人のせいにする

き

きかね

聞き分けが無く自分本位で意地が強い

きかんぼ

きぎ

きこばた

きしねつき

きたてる

きたんちや

きぢげ

きづげえあする

きっかけ

ぎつくらせんき

きったぎる

きつつ

きづめつて

きてえだ

きどごろね

きびつちよ

きへあわり

きぺんこ

きまる

きむぎつちよ

聞き分けの無い腕白坊主

杵きね 「ぎ」↓鼻濁音

落ち着きが悪い 動きすぎる

きりミミズのような動き

米搗こめつきき

飲み干す

ごめんください おじやまします

きちがい

気遣い、心配する

畑仕事で野菜を植えるときなどに土を

寄せたりする仕事

ぎつくり腰 「ぎつくら疝気」

苛立つて物や物事を寸断する ぶったぎ

る 「ぎ」↓鼻濁音

米櫃こめびつ

冷ややか 窮屈 厳しい

不思議だ 変だ 正常でない

寝床以外のところに服を着たまま寝ること

「着処寝」 うたた寝

急須

気分が悪い

鉛筆

終わる 解決する 一巻の終わり

気難しい むきになる

きむんちやぐ

きもどがし

きもやげる

きやつちや (けつちや)

きやんど (けんど)

きやな (けな)

きやね (けね)

ぎやあら

ぎやらぎやんず

ぎやらご (げらご)

ぎやり (げり)

きよねな

きらず

ぎりすべ

きりせんしよ

きんな (きんにや)

へそ曲がり

歯がゆい じれったい

苛立つ 気をもむ

逆さま 裏返し あべこべ

街道

腕

劣る 弱い 役に立たない【甲斐がない】

いきなり 不意に 突如【行成り】

騒ぐ者たち 煩わしく騒ぐ者たち ヒタキ

科の鳥アシキリが集団でぎやアぎやア騒ぐ様子から来た擬態語

蛙の子 オタマジヤクシ

回数 回り又は返りからきている 一回

去年

豆腐の搾りかす

実際上の義理

米の粉を練って作ったおやつ

昨日



くーであ

食べる」
食べたい

くーもつしえあ

くつた

ぐえ

くえる

くぐち

くされ

くしえ

くづ (ぢ) はび

くせやみ

くただ

くたばる

くたびれる

くちびら

ぐづめぐ

くど

くられる

くらすま

くるす

ぐるげ

くるまる

くれえてす

くろ

くろこぶし

くつちやべる

くべる

食べてください

食べた 食べました

具合

蓋をする 閉める

くどい 「ぐ」↓鼻濁音

悪い 例 腐れ者 くされ童

臭い

ママシ

つわり 癪病み

わら屑など

死ぬ

疲れる

くちびる

愚痴を並べる 小言を言う

グダグダ言ううぐやめぐ

竈 (かまど)

叱られる

暗がり

苦しい

周り、周囲 「げ」↓鼻濁音

包まれる

大食い たくさん食べる

哇

くるぶし

無駄な話を話し続ける

焚く 燃やす

くね
くさむすり
くせもんだ
くびた

ください
草取り
おかしい人、変な人
首

け

け
け
けあし
けあもち
けいはくかだり
けえぐりへえぐり
けえね
けがじ
けじようげ
けす
けず
けすと
けずな
げそげそ
げそつと
けづがる
けっける

食べてください
痒い
鳥の糞など
そば練などの類
へつらいを言う
何回も
足りない 劣る
凶作
結納の品
返す 帰す
これ (けずら||これら) この人
休憩 タイムの反対語 始め 開始
良くない 足りない↓けずなされー悪い
奴め
関係ないふり 知らないふり
何事もなかったように
居座る 居やがる
松ぼっくり

けつちや
けつぷり
けつつ
けでくね
けな
けなり
けぱ
げふり
けやすめる
けら
けろ

逆さま || けつちやむぐれ
気配 様子
お尻
ください
腕
羨ましい
ほうの葉
げつぷ
卑しめる 位を低く見る
蓑
ください
蛙の子 おたまじゃくし
差し上げる
片足飛び
変だ 申し訳ない 恥ずかしいと気持ちで
使うこともある
毛虫
乱暴な馬
県道

こ

こ
こいず
こが

おいで 来なさい
これ この人
桶 「が」↓鼻濁音

こきたね	汚い
こぎる	値切る 「ぎ」↓鼻濁音
ごぐつぶし	怠け者
こげにする	馬鹿にする
こげら	鱗
ごごえら	このあたり
ごごなり	塊 「ご」↓鼻濁音
こじやす	こじらす
ごしゃげる	腹が立つ
ごしゃやぐ	怒る
ごだぐきり	無駄話
こいげらがす	怒らせる
こえ	疲れる 疲れた
こつたに	こんなに このように
こつたりね	少し足りない 不足 未達成 少し劣る
こつちやこ	こちらに來なさい
こつちよがす	くすぐる
こつちよごつて	くすぐりたい 「ご」↓鼻濁音
こつぱ	木の削りかす
こつたばき	おう吐物
こつちや	こちら
ごつつお	ご馳走
こでえる	耐える 我慢する
こでえる	答える 応ずる 強く感じる
こでられね	耐えられない 我慢できない
ご	素晴らしい
ご	主人 ご亭主

こどかぐ	不足 気の毒 かわいそう
こどけだ	かわいそう 気の毒
こなさせ	産婆
こなづばり	田植えの手伝い 稲の苗を配分する人
こねだ	田植えの時に目印をつける時の作業
このぶんこ	この間
このじゅあ	こんな少し これっぽっち
ごしえつぱらげる	この頃
こぼがたれ	腹が立つ
こびはだぎ	少しバカな人
こびり	垢落とし
こぶせ	おやつ 朝昼晩の三食の間の間食 小昼
こぶら	子を庇う 子を防ぐ
こぶらけす	ふくらはぎ
こまざれ	ふくらはぎのきれいん
ごみる	土を均したり、ゴミを集めたりする道具 大
こまけ	きな熊手 小間竹杷
ごんけ	濁る
ごんけはぎ	細い 細かい みみっちい しみつたれ
ごんさま	こめえ こんめ
ごんたな	威張る 自慢話 大きな話
ごんど	威張り散らす 威張り散らす人
ごんび	この様 <small>さま</small> このよう <small>よう</small> な
ごんぼ	このよう <small>よう</small> な
	塵 木の葉やわら屑のよう <small>よう</small> なもの
	焦げ付いたもの
	ごぼう

ごんぼぬぎ
こんまり

くどい人や管を巻く人 面倒な人のことを言う。泣き虫のこども
ものや人材を選び抜く 競走中に一気に追い抜く
こじんまり ささやか 控えめ

さ

さあもね
さえ さあえ さささ

ささいな さもない
さて さてさて 失敗した時や、困ったときに発する言葉
賢しい 賢い

さがず
さがぶ
さがびづげる
さがりだす

叫ぶ
叱りつける
損をする

さがる
さがんこ
さがつぴら

盛る 祭りが盛り上がる
坂道
でこぼっこの無い坂面

さきた(さきたかだ)
さぎおどでな
さぎつぱだけ

さつき 先ほど
一昨日
菜園畑 自家用菜園

さしくさび
さすぺ
さする
さつくべる
さっこ

他人同士の物事に差し出口をはさむこと
衣服にチカチカする埃がついて痛い
しゃぶる 吸う
残り火に挿しくべる
谷

ざっこ
ざつと
ざつぱ(ざつぱ)
さなぶり

雑魚 ざっこ釣り↓魚釣り
少し ちよつと
雑板 雑な板
早苗饗さなぶり 田植え後に田の神を送る祭り

さね
さはち
さぱつと
さみ

大皿 大鉢
さつぱりと 何もなく 清潔

さむいぼ
ざらめぐ
さるこじぎ
さるこさるへ

鳥肌
ハラハラする 恐怖を感じる
かたくなに遠慮する
もんぺの一種

さわかす
さんかけ
さんざこさん
さんぞ
さんぞほり

田んぼに入る時に穿くぴつたりとしたモンペ
そのようなものに構うな
関わりあうな
騒がしい 騒々しい 「が」↓鼻濁音
険しい崖
さんざん
陰口 悪口
他人の陰口を言う人

さなかむな

そのようなものに構うな

さわがす
さんかけ
さんざこさん
さんぞ
さんぞほり

騒がしい 騒々しい 「が」↓鼻濁音
険しい崖
さんざん
陰口 悪口
他人の陰口を言う人

さんぞほり

他人の陰口を言う人

し

しえ(せ)
しえぐ
じえんご

しなさい
急ぐ
田舎 じえごたろう(じえごたれ)(田)

しえ(せ)ごま
じえじえ
しえだぐ

じえつた
じえつて
しえつぱね(すつぱね)
しえず(せず)
しえずぐ(せづぐ)
しえずね(せづね)
しえわす
しえどな(せどな)
じえにつこ
しえば
しえふる
しえめ(せめ)
しえめる
しえやみ(せやみ)
しえやみたがり
じえんじえん
じえんてい
じさま(ずさま)
しが(すが)

舎者)

せつせと 一生懸命
これこれ もしもし
呼びかけの言葉
着るもの 着物

※昔、田舎では、お下がりの着物を洗濯
したり、仕立て直したり

して着回ししていた。この過程を洗濯しえだぐと
言い、この後新しい着物のことも、この
ように言うようになったと思われる

喘息

絶対

雨の日に裾に泥水が跳ね上がることに

それ そいつ

急ぎ立てる うるさく催促する

うるさい 煩わしい 苦しい

うるさい 急ぎ立てられる

先日 先ごろ

お金 銭

そうすれば そうしたら

お風呂

狭い しえまつけ(狭苦しい)

責める 咎める

怠ける 骨惜しみ 背病む

怠け者 〓せつこぎ かばね病み

全然 全く

全体

おじいさん 祖父 老人

氷

じぎ

じき

じぎ

じぐなし

したくたね(すたくたね)

したくたね

したども(すたども)

しつもつする(すつもつ)

しつこ

しつとぎ

しね(すね)

しばで

しばれる(すばれる)

しはんこ、すはんこ

じみ

しめし

しやぐす

しやぶぎ

しやんぶぎたでる

しやりぎり(しやりぐり)

しやれ

すぐに 間もなく

肥し 語源食じき

遠慮 「ぎ」↓鼻濁音

意気地なし

だらしない 訳が分からない

すったもんだ

そうだけれども 然れども

ためらう様子

小便 小水

米などの粉で作った団子や餅のこと

撓い 弾力があつて撓み曲がる

酒のさかな つまみ

冷え込む 寒い

台布巾 ※手拭を思半分にした布から

丈夫

オシメ

杓子

くしゃみ

良くないこと言いふらす

無理やり 〓しやりむり

どいてください 避けてください

ここから退いてください

※去れ

退く 避ける 去る

帽子

背負う

居間

造作ない 簡単

じようえ

じよさね

じょうせ
じょうや

手抜き 浅はか
おそらく きつと 〓じょうやもの
※定様

しよず

じよせえした

しよつつきばる

しよで

じよつぱり

しよつぺ

しよどめ

しよども

しらごんぼ

しりこざり

しんばこ (すんばこ)

恥ずかしい
お粗末した
こわばる
最初
意地っ張り 〓ごうじよつぱり
塩辛い しよつぱい
諸乙女 乙女たち 娘たち
諸友 友達
酔わずに絡む人
尻小去り 少しずつ後ろに下がる
樹木の最先端 梢

す

すかね

すぐずる

すずなめる

すこだま

すったぐらげ

すつつもつつ

すつぱぎ

すつぱねあがる

好きでない 嫌い

↓えげすかね 〓いけ好かない

しくじる 失敗する

滑る

しこたま 沢山 どっさり

着の裾をたくし上げ帯に挟む 〓すつ物

ばしより

もじもじ もぞもぞ ためらう

決意不足

素脛 衣服を付けない脛

雨の日に裾に泥水が跳ね上がる 〓

ずつぱり
すつぺこ
すとんけ

すねから

ずねやづ

すひで

ずぶで

ずべら

ずほど

すまつこ

すみつぱれ

すみる

すもる

ずらつとして

すりこぎ

すりじやり

するす

ずれえ

ずんだ

ずんだぢふみ

せ

ぜえ

しつぱね
充分 満杯

一番最後

せつかちで軽率なこと 手落ち

素頓狂

脛

感心なやつ (人)

鋭い

凶太い 物事に動じない 凶々しい

無責任 でたらめ 生意気 ↓ずべら

こぎ 〓いい加減になまける (人)

随分 かなり 沢山 非常に

隅の方

霜焼け 凍み腫れ

凍みる 凍る

沁みる

知らん顔して 知らぬふりして

ゴマや胡桃などを、搦鉢ですりおろす時

に使うの棒

後ずさり

磨り臼

狡い 悪賢い

青豆のつぶし餡

地立ち踏み 地団駄を踏む

川の流水

せえきれる
ぜあご(じえんご)
せえせ
せえず せず
せえなむ
せえばん
せぐ
せずぐ
せずねあ
せせり(しえしえり)
せつしよ
せつかめぐ
せつたぐれ
せふる
せまつけ
せわす せわしね

そ

そう
そうすか(そすか)
ぞみず(ぞうみず)
そえで
そごら・そごえら
そこつと
そそくせ
そさだらば
そ(ん)ぎす

息がきれる
田舎
再々 度々
それ そいつ
責める 責め苛む
まな板 菜板 切板
急ぐ ↓せぐな―急ぐな
せつつく 催促する
うるさい 煩わしい
煙草のヤニ
風呂
急ぎ立てられる
怠け者 〓せやみ(しえやみ)
据え風呂
狭い
うるさい あわただしい

言う
そうすか
雑水 残飯などの汁
それで
その辺 そこいら
こつそりと 密かに
粗雑 粗末
そういうことなら
損じる 傷む 壊れる

そだごつた
そだつか
そだなす
そたなごど
そでねすか
そ(ん)だ
そつちや
そだそだ

た

そつぴ
そべえる
そんま
たえなし(てなし)
たぐれ(たれ)
たごまる
まる
だつても
たつつと
ところから
たでもど
たでる
たなぐ

そうだろう そうだと思う
そうですか
そうですね
そんなこと
そうじゃないですか
そうだ そうだそうだ
そちら そっち
例 そっちやえげ―そちらに行きなさい
い
棘 ※削片
甘える 慣れ親しむ
※おそばう(甘えふざける)が転訛
間もなく すぐ ※すぐの間

覚えがない 忘れた 忘れん坊
〇〇たぐれ
例 ばがたぐれ―バカたれ
酔ったぐれ―酔っ払い
寄り集る 寄りかたまる 手繰りかた
誰でも
ほんの少し ※滴がたつちりと落ちる
主催者
戸などを閉める
手で持ち上げる

たなぎあれぐ
だなどの
たばごのみ
たねる
たまげる
だます
たまとり
たもづぐ
たる(る)し
たんぎや
だんけい
たんばら
たんぺ

ち

ち(い)さけ ちっちゃけ
ちじこまる(つつこまる)
ちやつちやど
ちようどして

ちよす
ちよすくります
ちようずどごろ

手で持ち歩く
旦那様
おやつ 間食
尋ねる 探す
おどろく
子どもをあやす
お手玉遊び
掴まる
つらら
互い 交互
旦那 ※旦那芸(旦那が道楽で覚えた芸)
の転訛か
短気 せっかち
痰 唾

小さい 小柄 ※ちいさ個^ケ
「個」は其の物をさす
縮こまらる 蹲る しゃがみこむ
さつさと 早く ※着々^{ツツ}とが転訛
じつとして 黙って
落ち着いて※丁度(具合よく)してが
転訛
いじる 触る 触れる
※語源 寵す(かわいがる)
いじり回す 触りまくる
便所

ちよつけ
ちよつとぎま
ちや
ちよべつと
ちりたり

つ

つぎり
づくねん

つだす
つつつ
つとす

つと
つとがる
つぱり

つぶくぐり
つ(ん)のげる
つ(ん)のめす
つまきや(け)
つら
つらしかめ

ちよつかい
少しの間
おじいさん
ほんの少し わずか
少しずつ ※ちりちりの転訛

竿秤さおばかり ※「ちぎり(一貫目以上の物を
図る秤)」の転訛
年々 じつくり 落ち着き

※逐年の転訛

差し出す 突き出す
乳 母乳

突き通す 突き刺す 通り過ぎる ※
突き通すが転訛
藁で作った入れ物

とんがる 先が鋭くとがる
過敏になる

風力や重力に耐えるように支える棒な
ど ※突つ張り
つっぱりかう↓補強する

水に潜る

突きぬける
つきのめす 倒す
つまづく 物事が途中で失敗する
面 顔 表面

顔をしかめる 困った事だと思案する

つらつき

顔 顔つき

て

てえあご てんご

てえご

てえどめぐり でんどめぐり

てえどご

てえら

てえぐ

てえつけられね

てえます

てえあますもの

てえる

てくそもぢ

てすりこつぺあ

てっこずきで、ぶう

てつちよ

てできた

てどばだ

ではれ

同じ 同等 平等

※対偶 (二つそろったもの) の転訛
大根

同じところをぐるぐる回ること

繰り返し「ぐ」↓鼻濁音

台所

平ら

大工

手が付けられない

施しようがない 呆れる 困る

手に負えない 厄介

手に余る者 厄介者

絶える てやす||絶やす

いじくり回す ※手癖持ちの転訛

平身低頭 哀願懇願

※手摺り頭下げの転訛

手をすり合わせて謝ること

手だけで負んぶする 「ぶう」は背負う

の意味

天井 上

連れてきた

出入り口 玄関 出戸端

出なさい

てびらっこ

蛾 蝶

※昔かんざしの飾りの蝶を「かわひらこ」と言ったことの転訛

手をひらひらさせて飛ぶ様子からとも言われる

不器用な 不器用な人

日雇い 手間賃を取る

カマキリ

意地悪をする

おでこ ひたい

と

どごさ

どごさが

とじえ

としより

とずぐ

とすぺ

とつきやす とつけす

とつける

とつとぎ

どつちやにも

どでにする

とどこ とどっこ

とどらねえ

とのぐち

何処に

何処にか いづこにか

退屈 淋しい ※徒然(退屈)の転訛

年寄り

届く 着く 至る 達する

一番最後

取り返す 奪い取る

取り替える

とつておき

どちらにも

驚く びつくりする

蚕 ※尊い蚕 「尊い蚕様」と唱えて養

蚕の成功を祈った

乱雑 ちぐはぐ ※整わないの転訛

出入り口 戸の口

とのげる
どへらどん
とほでもねえ
たたない
とろつと

取り除く ※のりのけるの転訛
気が抜けてはつきりしない
途方もない とんでもない 目当てが

ずつと 絶えまなく 引つ切り無し
何時も

※古語の句に「十五六とろ拍子にそだつ
なり」とあり「とろ」は絶え間なく、「拍
子」は習慣やその状態を表現したもので
「とろ」が語源か || とろつべづーのべつ
まくなし

どんだり

何度も 何回も

|| どんだりかんだり ※度足る

どんどはれえ

おしまい おわり 晴天 ※頓と払う

どんぶぐ

綿入れの着物

な

ながら

半端 半分 || ながらなまじ

ながらはんちや (はんば)

中途半端

ながんすべが

無いでしょうか ○○ではないでしょ

うか

なぎつめ

泣きべそ || ながつめたでる (泣きべそを

かく)

なぎべつちよ

泣き出しそうな顔 なきべそ

なげる

捨てる

なして なすて

どうして なぜ

なじよだり

どのようにでも 適当に

だり

※何状たりが転訛 || なじよだりかじよ

なじよすて

どのようにして

なつてもかつても

どうしよう

だりかんだり

なんでもかんでも

なんでかんで

※「何もかも」の転訛 || なもかも、なん

なりぎたりぎ

どうしても 是非とも 必ず

なれあ

※「何であれ、嘗て(以前)であれ」の

なんたら

転訛

なんぼ

どつちつかず 気儘

なんぼすたつて

※「成り行き、他力」

なんぼだり

西風 嵐 強風 陽の当たらない

なんぼざり

場所

なんぼざり

※「何としたことか

なんぼざり

いくら どのくらい

なんぼざり

※何程の転訛 || なんぼくれ

なんぼざり

なんということを

なんぼざり

いくらでも 好きなくらい

なんぼざり

|| なんぼだりかんばんだり

なんぼざり

何回 何度 || なんぼざり

なんぼざり

に

にがむすぶつつぶす
 にげえ
 にげえ
 にしえ
 にな
 にぎりっこ
 にやめぐ

むすつとして機嫌が悪い様子
 苦い 「げ」↓鼻濁音
 二階
 偽
 荷の縄 荷を固定する縄のこと
 おにぎり おむすび
 にやにやする

ぬ

ぬぎにきやる
 ぬげえ
 ぬぐらつけえ
 ぬぐだめる
 ぬぐだまる
 ぬだばる(のだばる)
 ぬれえ
 ぬさばる
 ぬだぐる

仰向けになる
 暑い 暖かい ※温ぬくいいが転訛
 生暖かい 暖かな感じがする
 温める
 温まる
 腹ばいになる
 ぬるい 熱くない 手ぬるい 厳しくない
 穏やか ゆっくり
 のさばる
 塗りたくる

ぬるつと

ね

ねえ
 ねえがべ
 ねえがべが
 ねえあんす
 ねさつぱり
 ねしよべたれ
 ねだのした
 ねつける

ぬるつと一帯
 無い
 無いでしよう
 無いでしようか
 ありません
 なかなか寝ない 宵つ張り
 寝小便をした人 しょっちゅうおねしよを
 する人
 床下
 曲がりくねる 素直でない ひがむ 拗ね
 る
 〓ねする ねづる
 はきはきしない 優柔不断
 ↓ねつくつず
 ドライバー
 根元まで
 ねっこほり
 ねっぺ
 ねっちゃん
 ねなすかだり

くど
 諄く問いただす しつこい
 唾 〓たんぺ
 姉 お姉さん 身内以外の人にはお嬢さん
 と言う意味も
 根も葉もない話

ねぶかけ
ねぷて
ねまる
ねめる

居眠り 仮寝
眠い
座る
狙う

の

のさる
のさばる

乗る

走り回る 増長する 羽振りをきかす

のす

やり通す のせ↓やり通せ

のすむ

盗む 例 のすみと↓盗人

のっぴり

いっぴい たくさん

のぶで

野放し

のべつまぐらつ

凶太い ふてぶてしい ずうずうしい

のへらぼん

区切りなくだらだらと ※のべつまぐらつが転訛

のぼせる

のほほん 気にしない様子 ※のっぺらぼうが転訛

のんべこたれ

夢中になる 酒好きの人 大酒飲み

※ 呑兵衛垂が転訛 「垂」はだらける、呆れ

は

るを意味する

ばさま

おばあさん 老女 ※「ばんご」祖母御の転訛

はがえぐ

仕事が進む 扱はかどる

はががり

仕事を終える ※計(量)あがりの転訛 「計・量」⇨仕事の区切り

はがたぐれ

夕方の仕事上がりの時に使う

はがだづ

馬鹿野郎 馬鹿者

はぎ

仕事に入る 早く立つ ※「計立」「早立ち」の転訛

はぐた

箒

はぐらかす

半端 はした 端の訛り 「ぐ」↓鼻濁音

はげす

仲間はずれにする 「ぐ」↓鼻濁音

はしえる

勢いがある ※激しいの訛り 「げ」↓鼻濁音

はしり

走る 駆ける

はしりめえ

台所の流し ※昔の流しは一辺に水の流しぐ口を付けてい

はしりめえ

水が自然に流れ落ちる仕組みになっていたの、その水の走り流れる様子からきている

はす

流し台 橋 箸 端

ひ

はずぐ
はすたね
はすたっこ
はだうま
はだぐ
はだぎづげる
はだす
はだる
はだづ
ばづ
ばつけ(ばつきや)
はつけおぎ
はったぎ

取り除く ※省くの転訛
はしたない
端っこ 端切れ
雌馬 母馬
叩く 殴る
たたきつける 殴りつける
裸足 素足
要求する 催促する ねだる
二十歳
鉢 八
露の臺
易、占いをする人 場所 八卦おき
イナゴ 蝗 稲子

※バツタに似ることから飛蝗似 ばった

はっちやがる
はっちやめぐ
はらくそわる
はらちえ
はらびと
ばれる
はんかくせ
ばんきり
ばんげな
ばんどり

跳ね上がる Ⅱとちちやがる
落ち着きなく急ぎまわる
腹がたつ 面白くない
腹がいつぱい
妊婦
背負われる おんぶする
馬鹿げた 馬鹿らしい ばかばかしい
何時も 度々 順番無し 絶えず のべつ
夕刻 今晚 今夜 ※晩景の転訛
むささび

ひえわり

仲が悪い 交友関係が良くない

ひぎな

※ひあい廂間(家と家の空間)が悪いが転訛

ひぐる

大根、ニンジンなど野菜を刻んだもの
閉じる ※まなぐひぐる↓目を閉じる

ひげえる

干る 乾燥する 乾く

びっこたっこ

かたちんば 両方同じでない様
一日

ひして

膝 膝頭

ひじやかぶ

左効き

ひだりこぎ

額 額頭
蛙 蟊蛙が訛ったもの

ひてこべ・ひてこび

大きい蟊蛙↓ふるだ ふるだびつき
木を切る道具

びつき

ひつくり返す
木を切った後の屑

ひつきり

櫃

ひつくりげす

捻挫する ※ひね捻りかえる

ひつくず

いじる からかう
すいとん

ひつこ

酷い ひど

ひんちげる

一時の間 ※一合間の転訛

ひづる・ひじる

ひつつみ

ひんで

ひとあえ

ひとがだけ

ひとげり

ひどろ

ひともんちやぐ

ひのめ

ひひて

ひびど (ひぼど)

ひまだれ

一食

一回 ※一回 (ひとかい) の転訛

深い湿地の田んぼ

揉め事 文句

昼前 午前中 ⇄ ひるまがら (午後から)

一日 一日中 ※日一日の転訛

困炉裏

時間を割いたのに無駄になる ※暇垂の

転訛

びやっこ

少し 少々 僅か ※微に小を付けたもの

の転訛

びやっこが更に訛ったもの

びよっこ

ひよっこり

変な おかしな 妙な

ひよんたな

昼になって仕事を終えること

※「昼上がり」の転訛

昼寝 ※「昼休み」の転訛

平ら 薄くて広い

凸凹がない※「平たい」が転訛

「ひらびつてい」は「ひらてい」の俗語

「びつてい」↓厚みの無い顔

びいらり

即座に すぐさま

※「ひらり」が転訛 || 「びやあら」

びらびらど

ひるひなが
ひろおり

びりけつ
びわれる

く使う

真昼間

昼休みから午後の仕事に取りかかる時

※昼終わりの転訛

びり 一番最後

乾いてひび割れる

ふ

ぶう

ぶかす

ぶぎ

ぶぎかんぶぎ

ぶぎやす

背負う 負んぶする ※負うの転訛

赤飯

吹雪

吹雪

踏み破る 踏み倒す

※踏み返すの転 訛

踏みにじることの意味でつかわれること

が多い

布巾

瓢箪

福々しい 賑やか

杖 ※木刀

中に何も無い、残っていないこと

末子

ふぎんこ

ふぐべ

ふぐす

ふぐど

ふぐろっぱだぎ

こと

※袋叩きの転訛 叩いても何も残っていない様子から持っていた ものがすつかりなくなつたというようなどきに使う

悪く言う

ふぎます・ふんぎます

ふす

節 〓 〓 〓 〓 〓 (節々)

ぶす

毒 良くない

※附子(ふし)(トリカブトから取つた猛毒)の訛つ

たもの

ぶすづら

不満顔 不平顔 ふくれっ面

ふだ・ふだふだ

器量の良くない人に使われることもある

ふだます

そうだ そうだそうだ〓んだ なんだ

ぶつぶぐれる

巧妙に騙す

ぶつかす

ふくれて機嫌の悪い様

ぶつかれる

壊す ぶち壊す

ぶづげる・ふ(ん)づげる

壊れる ぶち壊れる

ぶつたぎる

踏みつける

ぶつただぐ

打ち切る ※「打ち」を付けることにより、その行為がより強いものになる

ぶつつぶす

打ち叩く

ぶつちやぐ

打ちつぶす

ぶつちらす・ぶつちらがす

打ち破る

ぶです

散らかし放題にちらかす

こと

踏み荒らす 踏みつぶして台無しにする

ぶ(ん)なげる

投げ捨てる

ぶのす

打ち叩く

ふ(ん)づぐる

駄々をこねる

ふんでえす・んでえす

それでは それなら

ふるだ

ひきがえる

ふるで

墓蛙

ふれこど

古着

〓

お知らせ ※「布令ごと」の転訛



べいつとり

奪う合う 奪い合い

べえっこ・べっこ

少し 僅か 小さい 小さい子

へえる

末っ子

へえれ

入る

へえつてごぜ

はいれ

へえつてくね

お入りになつてください

べご

お入りください〓語尾を「くなえ」

べご

「くなんせ」にするとより丁寧

べご

牛※アイヌ語で牛のことをべこという

へだばる

諸説あり

へづ(せづ)

弱る 臥す 伏す

へつたれ

それ

べつちよ・べつちよかぐ

よくオナラをする人

べつちよ

べそ、べそをかく↓「べつちよづら」

ほ

へっぴりごす
へびたまぐり

へびたまぐり

へら

へらめぐ

泣きつ面

へっぴり腰 腰に力が入らない

機嫌取り

※諂へつらいまい巻くるの転訛（館迫地方）

カタツムリ（倉沢地方）

年上の女房

余計なことを喋りまくり

ほいど

ほいどたがり

ぼう

ぼっかげる

ぼっばらう

ぼんだす

ほえじよ

ほえど

ほぎや・ほげ

乞食

常に物を欲しがる人

追う

追いかける

追い払う

追い出す

包丁

乞食 物貰い

神仏に供える 墓参り 供養

お盆の供 養

※「法界」が語源 はづほげー亡くな

つて最初の盆供養

吐き出す

細い

ほぎだす
ほしえ・ほせえ

ほしえる・ほしえだ
ほしける

ほす

ほす

ほす

ほすなし

ほだ

ほだ

たもの

ぼだぶり

ほつけあ・ほつけた

ぼっこ

ほでね

ほでくてね

ほでなし

乾く・乾いた

果実などが完熟前に落ちること ※干し

欠けるが転訛

この他に、物事の途中で、脱落する 離脱

する 落伍することにも使う

欲しい

意識がない 記憶がない

※「本地ほんち」（本来の姿・本心・本性）

「本地がない」が転訛

見境が分別できないこと 又はそういう者

のことをいう

そうだ

蕨や薇の伸びすぎて開いたもの 又は枯れ

もの

自家製の肥やし振り

※「ぼだ」の語源は炭鉦の選鉦の不要物

昔、農家では下肥えや蚕糞、風呂木を肥料に

していた

頬 頬っぺた

赤ん坊 乳児

訳が分からない 定まりがない

※「方図がない」「放題」がないが訛ったもの

の

「ほでね」に同じ

訳の分からない者

ほどあぐ
ほどる
ほに

ほまじ・ほまず

ぼぼこ
ぼへんと

ほろぐ

ほろげだ
ほろった
ぼんぎり・ぼんが

ぼんず

ほどぼりの残っている灰
火照る 熱が出る 暖かい
本当に 強調するときは「ほんにほんに」
呆れた時「ほにほに」
臨時収入 ヘソクリ 小遣い銭

※語源「帆待ち」|| 船乗りが風を待っている間に密かに荷を請け負い一緒に運んで、自分の収入にしていたことから、定時収入以外の収入金のことをいううようになつた↓ほまじ(ず) 稼ぎ

苗 薔
ぼんやりと あいまいではつきりしない様子
子
振るう 揺るがす 選別する※「振るう」の転訛

選別に落ちた 木の実や葉が落ちた様子
ものを落としたり 失った

迷惑のかからない程度のウソ 法螺 「ぎ」
「が」↓鼻濁音

※「棒切れ」話が単純で深くない話」ということから深くない嘘に繋がった
「法螺」は法螺貝を加工した笛を吹くと大きな音が出ることから物事を大げさに言うことに繋がった

|| ぼんぎりふぎ ぼんがふぎ
髪が短い頭 僧侶の別称 男の子の愛称
※「ぼうず」が転訛

ぼんずあだま

坊主頭

ま

まえぶり・めぶり

まがりとめ

まがる

まがる

まげる

まぎ

まげえもの

ましえぎ

まじえる

ますら

坊主頭

前掛け 前垂れ

曲がり角

覗く 「が」↓鼻濁音

↓まがつてみる―覗いてみる

こぼれる 溢れる 撒ける

※撒かすが転訛

誤って、あるいは故意にこぼす 入れ物を空にする

↓「かまげる」|| 勢いよく撒かす

↓「うそまげる」|| 嘘を言いふらす

一族

偽物 ※まがい物の訛り 「げ」↓鼻濁音

柵木 ませぎ 畜舎の出入り口を閉じるために使う横棒

「ぎ」↓鼻濁音

「社会の窓」を表すことも

混ぜる 加える

丸ごと そのまま全部 ※「くまで連ねる」の転訛

まだぎ

猟師 鉄砲撃ち 「ぎ」↓鼻濁音

※語源 アイヌ語で狩猟のことをマタキン
マタグと言うことから転訛

東北北部から北海道地方で使われている

まつか

二股になっているものの間のこと

※「股」が転訛

まつかぎ

二股状に枝分かれしている木 ※股木が転訛

↓「まつかでご」二股の大根

直々 直属 ※「真つ掛け」の訛り

まつてー

真向

まつと

もつと これ以上 更に ※「もつと」の訛り

まつぺえ

眩しい 目映い ※「目窄め」の転訛

まで

丁寧 まじめ 大事 大切 儉約 物惜しみ

※「真丁」(ねんごころ・全う)の転訛

↓「まですけ」けちんぼ・しまりや

まぶ

土手

まなぐ

目 まなこ 眼 ※「目の子」目の童「瞳」が転訛

まねっこ

真似をする

ままたぎ

食事を作る人 その職業

まめ

真面目 忠実 誠実 ※語源「忠実」

まめし・まみし

健康 達者 元気 まめまめしい

まやう

弁償する 償う

※償いをする時の迷う・惑う」から転訛

まるぐ

束ねる 縛る 丸める ※丸めるの転訛

まんま まま

ごはん 食事 飯 ※幼児に食べさせる時に旨
いもの「うまうま」と言って食べさせたことから
「うまうま」が転訛し俗語化した

み

みがげええ

見栄えが良い 美しい 美人

みぎり

右のこと ※「ひだり」という語にあわせて「り」
を添えた俗語

みしえっこ

お店屋さん

みすとかがる

一生懸命になる みっちり取り掛かる※「みしと」

の訛り

みずあび

水泳ぎ 水泳

みだぐなす

醜いもの ※「見たく無し」が語源か

みつきや

短い

みつつと

みっちりしっかと 確りと 真剣に 一生懸命 ※

みつと

「みっちり」が転訛

みなぐち

見物人 ※「見る人」の転訛

みまぎ

田に水を引く際の引き口
姻族 親族 一族 身内

※古語の「身巻」の訛り。単に「巻き」とも
いう

みもち

妊婦

む

むえる

孵化する 孵る

|| 「むげる」「むしける」 剥むけかえ孵る

むかさる

嫁入り

むぎつちよー

むぎになる

すぐに立腹して人の話を聞き入れないもの
妥協しない 反発する

※「無記」仏教用語問いに対して是とも非とも答えないの訛りか
漏らす

むぐす

むぐる

むじえ

潜る 隙間から出入りする

かわいそう 哀れ ※「無残」が訛ったもの

|| むぞい

むじえやな

むしえる

かわいそうに || むぞやな

むせる ※「咽る」の転訛

やるべきことが多すぎてアップアップする

むしおごす

発作性の泣き叫びや痙攣けいれん ヒキツケ

むつける・むつくれる

不満で従わない 素直でない 捻くれる

むったり

ずうっと 絶え間なく 休みなく

むったくた

むったりを強調したもの

め

めえ

前

めえっこ

繭 繭玉 ※「繭蚕」まゆこ

めくされ

目の病気

※「目腐れ」そのものからきている

↓めくされがね—僅かなお金

不足金 端金はしたかね

↓めくされもの—小物(者) 不足物(者) 半

端物(者)

めぐさめんこ

器量は良くないが愛嬌のある顔またはその

めぐり

者 花札遊び

めげえ

可愛い

※「愛めこい」が訛ったもの

めぐぐね

可愛くない※「愛めこくない」が訛ったもの

めしえる

見せる

めしやね

見せない

めつかす

しやれる

めつける

着飾る

めつとろご

※「色めかす」の転訛

めにあう

出任せ

めにあう

考えなし 出鱈目

めにあう

大変な思いをする 大変な目に合う

めのかんじょう
めめず
める
めねえ
めんどくしえ

苦勞する
概算 大体のところ
みみず
見える
見えない
面倒臭い

も

もさげね
もす もつす
もじやぐる
もじやげる
転訛
もじやげる
もじやそび
もじやっぱね

申し訳ない
ごめんください ※「申し」の転訛
衣服や紙、物事を揉む 揉ます
落ち着けない やきもきする ※「気を揉む」の

持ち上げる 「げ」↓鼻濁音
玩具 ※「持ち遊び」の転訛
大事にしない 粗末にする
↓「もじやばなし」大事にしない者
※「持ち放す」の転訛

もぞかだり
もつきり
もっこ
寝言語り 譚言うわごと
コップ一杯の酒 ※「盛り切り」の転訛
蒙古 鎌倉時代に押し寄せた蒙古軍のこ
と
子どもを寝かしつけるときなど「もっこくる」

もつぺ。もんぺ
もてあねあ
もどめ
ももた
ももしぎ
もよし
もろ
もんじやねえ

と云つて、いうことをきかせた
雪袴の類
勿体ない 惜しい
本妻
太もも
股引
衣服 着るもの
同年者 両方 ※「諸」の転訛
幼稚だ

や

やあれる
やがねる
やがます
やぎもちやぎ
やぐだれ(り)
やぐてなし

言われる
羨む 嫌がらせ からかう 冷やかす ※
「妬く」の転訛
喧やかましい 騒がしい ※「喧し」の転訛
よくやきもちを妬く人
態わざと 態々 故意に ※古語「役足り」の訛
り
役に立たない ※「役の手がない」の訛り
↓役立たず

やぐど

態わざと 本意でない※「役として」の訛り

↓違ちがう 偽いつはりり 冗談

捨すて鉢

瘦うすせ 細こい※「瘦せ」の訛り

齒痒はい いらいら じれじりたい 許ゆるせない

略りやくす 約やくす

沢山

湿地 ジメジメしたところ

※「谷地」の訛り↓やづ田（ぬかるんだ田んぼ）

柔ならかい ↓やっこい

虐いじめめる 返かえしを取とる 物事ものごとに決着けつちやくをつける

※「奴を蹴こる」の転訛

やつのことことで

やはり やっぱり

漸ようやく 事ことが滑すべらかにに行いわれる ※「やっ

とすとつと」の転訛

明後日

汚よごい 不潔

病

病人 ※やまいびとの転訛

ししでかす

区切まりなく 度合どあいなく ※「やれるほど」

の転訛

やれる

やんた・うんた

やんべ

やんべくれ

できる

嫌きらだ 嫌きらいた ※「嫌だ」の転訛

適当

良よいかげん 適た当たなくらい ※「按配あんぱいくら

い」の転訛

ゆ

ゆうはん

ゆべな

ゆまかた

ゆ（よ）えつこ・ゆいつこ

ゆがだ

ゆすぐ

ゆつける

夕食

夕ゆべ 昨け夜 ↓ゆんべなかだ（夕べ方）

夕方

労働交換

浴衣

すすぐ

結むすわえ付ける 結むすびつける

※「結むすいける」の転訛

↓ゆゆつつばる（結むすいづる）

揺ゆり動うかす 「揺ゆるがす」の転訛

湯

風呂場

煙けたい

腰こし巻

蓬よもぎ 「ぎ」↓鼻濁音

簡かん単たんじやない 容よう易いでない

ゆゆつくりする

とすとつと」の転訛

明後日

汚よごい 不潔

病

病人 ※やまいびとの転訛

ししでかす

区切まりなく 度合どあいなく ※「やれるほど」

の転訛

よ

よえる
 ようすきぎ
 ようやらやつと
 よが
 よがんべ
 よげ
 よぐたがり
 よごしえ
 よさつぱり
 い
 よしえ
 よじれる
 よったぐれ
 よつつま さつつま
 よっちららくっちら
 よな
 よなが
 よなげる
 よばれる

あつらえる 準備する 揃える
 ※「寄せる」の転訛
 見舞い
 ようやく やつと
 蚊 「が」↓鼻濁音
 良いでしょう
 余計
 欲張り ※「欲集り^{たか}」の転訛
 わたせ ※「よこせ」の訛り
 宵つ張り 夜更かし ※「夜さつぱり寝ない」
 弱い 元氣不足
 擦れる 捻じれる ひねくれる
 酔っ払い
 暇 閑
 よたよたよろめく
 砂
 農作物の豊凶
 米を水に浸してゆすり、砂などを取り除く
 招待される ご馳走になる

よひで
 よま ゆま
 よみや
 よみやこど
 よりあえこ
 よわり

ら

らぐ

らず (じ)

り

りぎむ
 りんき

夜通し ※よつぴいて
 夜 ※「夜間」「夕間」の訛り
 宵宮
 小言 愚痴 ※語源「世迷い言」
 仲間の集会 寄りあい
 夜仕事 夜なべ ※語源夜を割って仕事を
 する「夜割り」

楽

↓らぐするー 楽をする
 ↓らぐでねーらくじやない

埒^{らち}の訛り ↓らずあかね ー 捗^{はかど}らない
 ↓らずあぐ ー 捗る 片付く 決着がつく
 ↓らずもね ー 取り留めない たあいがない

力を込める 張り切る 威張る
 ※「力む」の訛り《名詞「りき(力)」の動詞化》
 「名」(スル)男女間のことなどでやきもちをやく

こと。
嫉妬（しつと）

る

るせ（し）え

留守番 ※「留守居」の訛り

れ

れえあさま

雷 ※「雷様」の訛り

れえあねん

↓「れえさまおどぎやる」雷が落ちる

れぐつ

来年 ※「来年」の訛り

れんじ・れんちこ

理屈

れんとする

窓
ゆっくりする

ろ

ろじ・ろーじ

内庭 庭園

ろくさま

ろくに 充分でない様子

ろぐでなし

ろくでもない ろくでもない者 ※「ろくでな

し」の訛り
ろばだ

わ

わ・わりや

私 自分

わがね・わがらね

だめ いけない いやだ・わからない

わがれる

↓「わがねつたら」だめですつたら

わげあね

離縁する ※「わかれる」の訛り

わげあわがね

たやすい 簡単 ※「わけ無い」の訛り

わげもの

訳が分からない

わさくさ

若者 ※「若いもの」の訛り

わさくさ

↓「わげひたち」若い人たち 若い衆

わさくさ

ざわざわして落ち着かないさま。

わさくさ

草や木の葉が、風などで揺れるさま。また、物を揺するさまや、その音。

わざと

※「わさわさ」が転訛

わざと

わざと 故意に

わざと

特別に依頼した使者

わざと

綿を入れた衣類 綿入れ半纏

わだかれ

曲げ物 ご飯などを入れる円形の容器

わっか

囲炉裏などで燃やすための薪 ※「割った焚き木」の転訛

わっか

悪戯 子どもの悪ふざけ※

わつつあぎ

わつつあ

わつつあ

「童悪戯」の転訛

↓「わつつらまね」 子どもの悪さほどの事と
いうことで、新たな試みをしようとするときに
謙遜していることがある

わつつら
わつつこ

上の方 うわつつら※「上っ面」の訛り
斜め

わっぱが

↓「わつつこに背負う」斜めに背負う
割り当てられた仕事※「割計」の訛り
↓「わっぱがきめる」仕事を片付ける
↓「わっぱがしごと」割り当ての仕事だけをす
る

わっぱり
わらす

上着 羽織 作業衣
子ども 幼児 ※「童」の転訛
↓「わらしえど」（「しえ」は衆・等）の意味

こどもたち
わり

悪い 良くない ※「悪い」の転訛
↓「わりぐすと」悪くすると 事によると

わらつとこ

わらなどを束ねて、その中に食品を包んだもの。
※「藁つと」の転訛

わんこ
わんこ
わんこ

お椀
犬

ん

んだ

そうです ※「うん」肯定の訛り
↓「んだがら」そうだから
↓「んだなは」そうですね
↓「んだね」そうじゃない
↓「んだねぐ」そうじゃなく
↓「んだども」そうだけれども
↓「んだらば」そうであれば

んな
んにゃ

あなた お前 貴さま
いや 違う

んと

↓話を変えるときに「ところで」というニュア
ン
スで使うこともある
ええと

東和弁 小辞典

今ではあまり使われなくなった東和弁を拾い集め、大切に残していくために調査活動を行ったもので、既に同じ活動を行っていた館迫の故堰根侘さんの遺志を継がせていただき作成しました。

この他、「東和おもしろ学講座-東和弁ゼミナ～る」で東和荘デイサービスセンター通所者の皆さんにご協力いただいたほか、小山田、倉沢、田瀬地区の「方言集」も参考にさせていただきました。ありがとうございました。

今後も、さらに調査を継続し東和弁を集める活動を続けていきたいと思えます。皆様のご協力をお願いします

東和おもしろ学東和弁ミニ辞典編集部

《参考資料》

- ふる郷に伝わる使いなれた言葉(方言)
—方言の解説と語源—館迫暇人(堰根侘)
- 平成小山田村史 小山田の方言の特徴
- 倉沢郷土誌 ふるさと方言集 倉沢郷土史編集会
- 田瀬の郷土誌 ふるさとの方言

とうわ弁と

歴史朗読劇



★東和弁ミニ辞典

東和おもしろ学東和弁編集部

★歴史朗読劇「土澤の熊」

劇団よぐまんづ東和町

一般社団法人東和作戦会議

〒028-0114

住所 花巻市東和町土沢5区372

ホームページ <http://touwa-noutabi.blogspot.jp/>